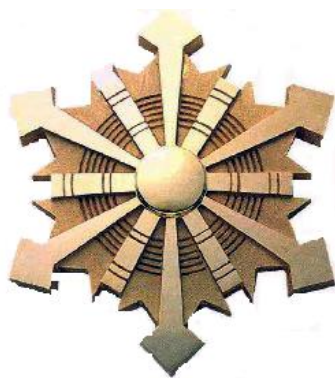


令和7年版

消 防 年 報



(令和8年刊行)

菊 川 市 消 防 本 部

は じ め に

この年報は、令和7年中の菊川市管内における消防諸般の状況を収録刊行したもので、合理的な運営と効果的な消防行政を推進するために、消防業務の内容・火災・救急統計等を中心に編集しました。

消防行政の現況をご理解いただくとともに、防火思想の高揚を図るためご活用いただければ幸いに存じます。

なお、統計については原則として暦年をもって表し、それ以外のものについては頭注に年月日を記載してあります。

また、職員関係は令和8年4月の組織で記載いたします。

令和8年6月

菊川市消防本部

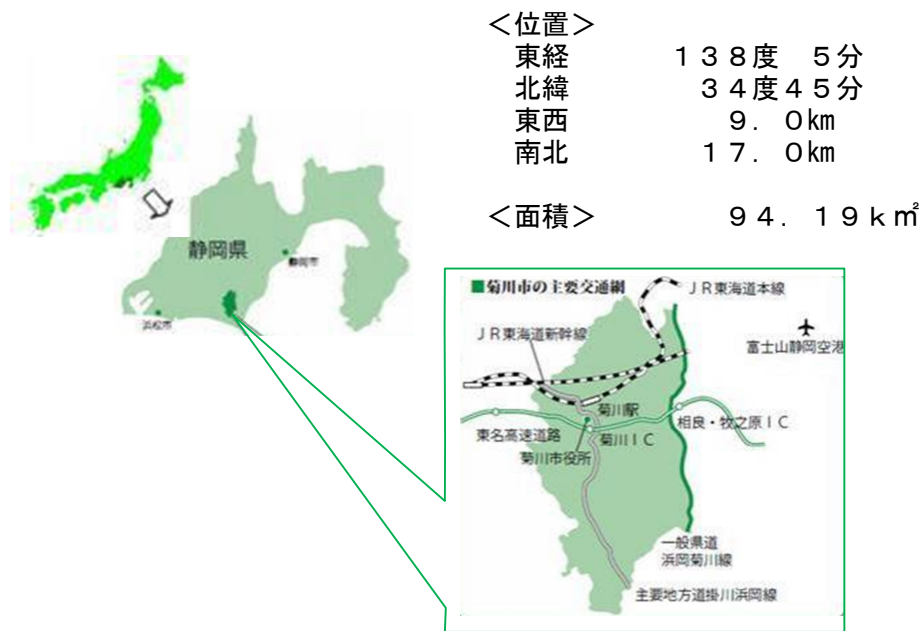
目 次

市の情勢	-----	- 1 -
庶務関係	-----	- 8 -
予防関係	-----	- 19 -
火災関係	-----	- 31 -
救急・救助関係	-----	- 43 -
通信関係・その他	-----	- 57 -
消防団関係	-----	- 66 -

市の情勢

	目	次
菊川市の位置と管内情勢	-----	- 2 -
消防管轄区域	-----	- 3 -
消防施設	-----	- 3 -
消防費（予算額）と職員・人口・世帯と比較	-----	- 4 -
常備消防と面積・世帯・人口割り	-----	- 4 -
菊川消防の歴代消防長・消防署長	-----	- 4 -
菊川市消防本部のあゆみ	-----	- 5 -

菊川市の位置と管内情勢



<地理的条件>

菊川市は、静岡県の中西部に位置し、東側に日本一の大茶園牧之原台地を擁し、南側に市内を縦断する一級河川菊川が流れ込む遠州灘を望み、北西側は掛川市に接する、温暖な気候に恵まれた自然豊かな地域です。

地目別面積は農用地34.59km²、山林・原野25.74km²、宅地11.55km²、その他22.31km²となります。

地域内には、JR東海道本線菊川駅、東名高速道路菊川インターチェンジを有し、また近隣にはJR東海道新幹線掛川駅、御前崎港、富士山静岡空港を有することから、利便性に恵まれた将来性豊かな地域となっています。

<菊川市の市章>



菊の花と菊川の流れをモチーフに、2町が合併し一つの市となる様子をデザインし、菊川茶に代表される自然を生かした、産業豊かな市の特徴を、2色の緑で表現されています。現在から未来へと受け継がれる、人と緑が共にいきいきと発展する姿を市章に表しました。

<菊川市の木・鳥・花>

茶



キセキレイ



菊



消 防 管 轄 区 域



<管轄区域>

- ・ 菊川市内全域
- ・ 東名高速上り
菊川IC ~ 相良・牧之原IC
- ・ 東名高速下り
菊川IC ~ 掛川IC

消 防 施 設

名称	所在地	種別及び棟数	面積 (㎡)		建築年月
			建築	敷地	
菊川市消防本部 菊川市消防署	静岡県菊川市 東横地385番地	庁舎棟 1棟 車庫棟 1棟 訓練塔 1棟	1,786.54	6,879.10	平成26年1月



菊川市消防庁舎

消防費（予算額）と職員・人口・世帯と比較

（各年4月1日）

年 度	消防費 （千円）	世帯		人口		消防本部 所管予算 （9款1項1目～3目）	消防職員	
		世帯数	一世帯当 たり （円）	人口	一人当 たり （円）		人数	一人当 たり （千円）
令和6年度	1,249,862	19,050	65,610	47,450	26,341	915,871	65	14,090
令和7年度	1,658,995	19,148	86,641	46,961	35,327	891,356	66	13,505
令和8年度	1,097,449	19,374	56,645	46,556	23,573	803,159	66	12,169

※補正予算は含めない

常備消防と面積・世帯・人口割り

（住民基本台帳＋外国籍 令和8年4月1日）

区 分	面積 （94.19 km ² ）	世帯数：19,374 戸	総人口：46,556 人
		（外国人：2,020 戸）	（外国人：3,982 人）
消防吏員（64人）1人当たり	1.5 km ²	303 戸	727 人
全救急車（3台）1台当たり	31.4 km ²	6,458 戸	15,519 人

菊川消防の歴代消防長・消防署長

【消防長】

代	氏 名	在 職 期 間
初 代	山 内 均	平成 17 年 4 月 ～ 平成 19 年 3 月
2 代	横 山 静 雄	平成 19 年 4 月 ～ 平成 21 年 3 月
3 代	岡 本 吉 弘	平成 21 年 4 月 ～ 平成 24 年 3 月
4 代	横 山 克 喜	平成 24 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月
5 代	坂 部 浩 之	平成 25 年 4 月 ～ 平成 31 年 3 月
6 代	稲 垣 裕 次	平成 31 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月
7 代	野 中 治 彦	令和 2 年 4 月 ～ 令和 4 年 3 月
8 代	八 木 一 巳	令和 4 年 4 月 ～ 令和 7 年 3 月
9 代	白 岩 勝	令和 7 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る

【消防署長】

代	氏 名	在 職 期 間
初 代	岡 本 吉 弘	平成 17 年 4 月 ～ 平成 18 年 3 月
2 代	村 松 信 義	平成 18 年 4 月 ～ 平成 20 年 3 月
3 代	八 木 澄 雄	平成 20 年 4 月 ～ 平成 22 年 3 月
4 代	渡 邊 政 幸	平成 22 年 4 月 ～ 平成 25 年 3 月
5 代	井 指 孝 志	平成 25 年 4 月 ～ 平成 28 年 3 月
6 代	野 中 治 彦	平成 28 年 4 月 ～ 令和 2 年 3 月
7 代	二 俣 章 太 郎	令和 2 年 4 月 ～ 令和 7 年 3 月
8 代	後 藤 浩 孝	令和 7 年 4 月 ～ 現 在 に 至 る

菊川市消防本部のあゆみ

年 月	変 遷
昭和44年 2月	東名高速道路全線開通により菊川町消防本部を設置、救急業務を開始
昭和45年 4月	消防業務を開始し、消防団常備部を廃止、職員18名
昭和47年 4月	小笠地区消防組合発足（4町1村）職員27名
昭和48年 4月	大浜町と城東村合併、大東町となる（4町の組合となる）職員40名
	5月 消防本署庁舎完成（菊川町半済1776-1）業務を開始
	6月 南分所庁舎完成（大須賀町大淵）業務開始、職員43名
昭和49年 6月	中分所庁舎完成（小笠町大石）業務開始、職員55名
昭和51年 9月	本署車庫増設、職員58名
昭和55年 4月	職員定数条例を改正63名
	9月 本署庁舎3階会議室増築
平成3年 4月	職員定数条例を改正70名
	12月 通信指令室整備のため庁舎2階を改装、消防緊急情報システム及び救急波整備
平成7年 3月	本署訓練塔設置工事完了
平成8年 4月	職員定数条例を改正75名（職員72名）
平成9年 9月	消防本署庁舎1階車庫耐震補強工事
平成10年 2月	大型水槽付消防車購入（本署配置）
平成11年 4月	職員定数条例を改正83名
平成14年 2月	国・県補助により救助工作車Ⅱ型購入
	7月 南分署新庁舎建設用地取得
平成16年 4月	平成17年3月まで静岡県消防学校へ教官として消防職員1名派遣 消防署南分署（大須賀町大淵14273）業務を開始 南分所、中分所旧庁舎解体工事
平成17年 3月	小笠地区消防組合解散（31日）、南分署は掛川市消防本部南署として運用開始 掛川市消防本部へ職員24名転籍
	4月 小笠地区消防組合の解散に伴い、菊川市半済1776-1に菊川市消防本部・消防署を開設、さらに旧小笠町役場庁舎東館1階に消防署小笠分遣所を開設 職員定数条例制定 消防職員65名 消防職員3名採用、職員59名、臨時職員1名 ＜消防本部及び消防署の状況＞ 職員 消防本部16名・消防署33名（2交替制勤務） 車両 小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型1台、救助工作車Ⅱ型1台、水槽付消防ポンプ車1台 高規格救急車2台、司令車・指揮車・調査車・資機材搬送車・災害広報車各1台を配置 ＜消防署小笠分遣所の状況＞ 職員 10名（2交替制勤務） 車両 水槽付消防ポンプ車1台、2B型救急車1台、調査車1台を配置
平成18年 2月	国庫補助により化学消防ポンプ自動車（Ⅱ型）及び消防無線10W移動局を購入（消防署）
	4月 消防職員4名採用、職員61名、臨時職員1名 2交替制勤務を3交替制に変更 職員 消防本部16名・消防署33名 小笠分遣所12名

年 月	変 遷
平成18年	11月 高機能指令台部分更新（菊川市消防本部配置）
平成19年	3月 平成22年3月まで静岡県消防防災航空隊（防災ヘリ）へ消防職員1名派遣 4月 消防職員4名採用、職員63名、臨時職員1名 12月 高規格救急車1台を整備し、小笠分遣所に配置
平成20年	4月 消防職員3名採用、職員63名、臨時職員1名 6月 第37回静岡県消防救助技術大会 引揚救助の部優勝 7月 関東地区救助技術指導会 引揚救助の部に出場 12月 水槽付消防ポンプ自動車（菊川3）更新整備、小笠分遣所に配置
平成21年	4月 消防職員3名採用、職員63名、臨時職員1名 地域活性化・生活対策臨時交付金事業により団指揮広報車（菊川62）更新、消防団本部に配置 8月 8月11日午前5時7分 駿河湾沖を震源とするマグニチュード6.5 震度6弱の地震が発生 菊川市においても震度5強を観測し、住宅瓦の落下996棟、負傷者15名の被害が発生 10月 地域活性化・生活対策臨時交付金事業により高規格救急車（救急菊川1）1台更新、消防署に配置 全国消防救助技術大会 ロープブリッジ救出の部に出場
平成22年	4月 消防職員4名採用、職員64名、臨時職員1名 市安全課出向1名、消防本部に企画課設置 12月 通信指令の広域化の枠組みは中東遠地域となり、指令センターを磐田市に設置することが決定 消防庁舎建設予定地が三沢地区に決定
平成23年	3月 3月11日午後2時46分 宮城沖を震源とするマグニチュード9の東北地方太平洋沖地震発生 菊川市で震度3を観測 3月11日18時緊急消防援助隊静岡県隊として第1次隊出動 3月30日の第6次隊まで派遣 4月 消防職員5名採用、職員64名、臨時職員1名 平成25年3月まで静岡県消防学校へ教官として消防職員1名派遣 9月 台風15号県西部地区上陸、市役所に災害対策本部を設置
平成24年	4月 消防職員3名採用、職員63名、嘱託・臨時職員各1名 中東遠地区（5市1町）にて中東遠消防指令センター共同運用開始（磐田市福田支所）
平成25年	2月 高規格救急車1台の寄贈を受ける（JA共済連静岡、JA遠州夢咲） 4月 消防職員2名採用、職員62名、嘱託・臨時職員各1名
平成26年	3月 消防庁舎完成 消防庁舎敷地面積6,879.10㎡・庁舎棟[建築面積]1,064.33㎡ 車庫棟[建築面積]648.90㎡・訓練塔[建築面積]73.31㎡ 防災対策の基盤整備として普通乗用車1台の寄贈を受ける（フジオーゼックス株式会社） 同じく、47型テレビの寄贈を受ける（菊川市危険物安全協会） 旧消防庁舎（本署・小笠分遣所）閉署 4月 菊川市東横地385番地に新庁舎を開設し運用開始 消防職員2名採用、職員62名、嘱託・臨時職員各1名 10月 台風18号に伴い災害対策本部を設置 市内全域に避難勧告発表
平成27年	3月 菊川市消防防災ヘリポート併設 運用開始 司令車（菊川51）更新整備 4月 消防職員1名採用、職員61名、嘱託職員1名
平成28年	3月 消防救急デジタル無線 運用開始 4月 消防職員3名採用、職員62名、嘱託職員1名

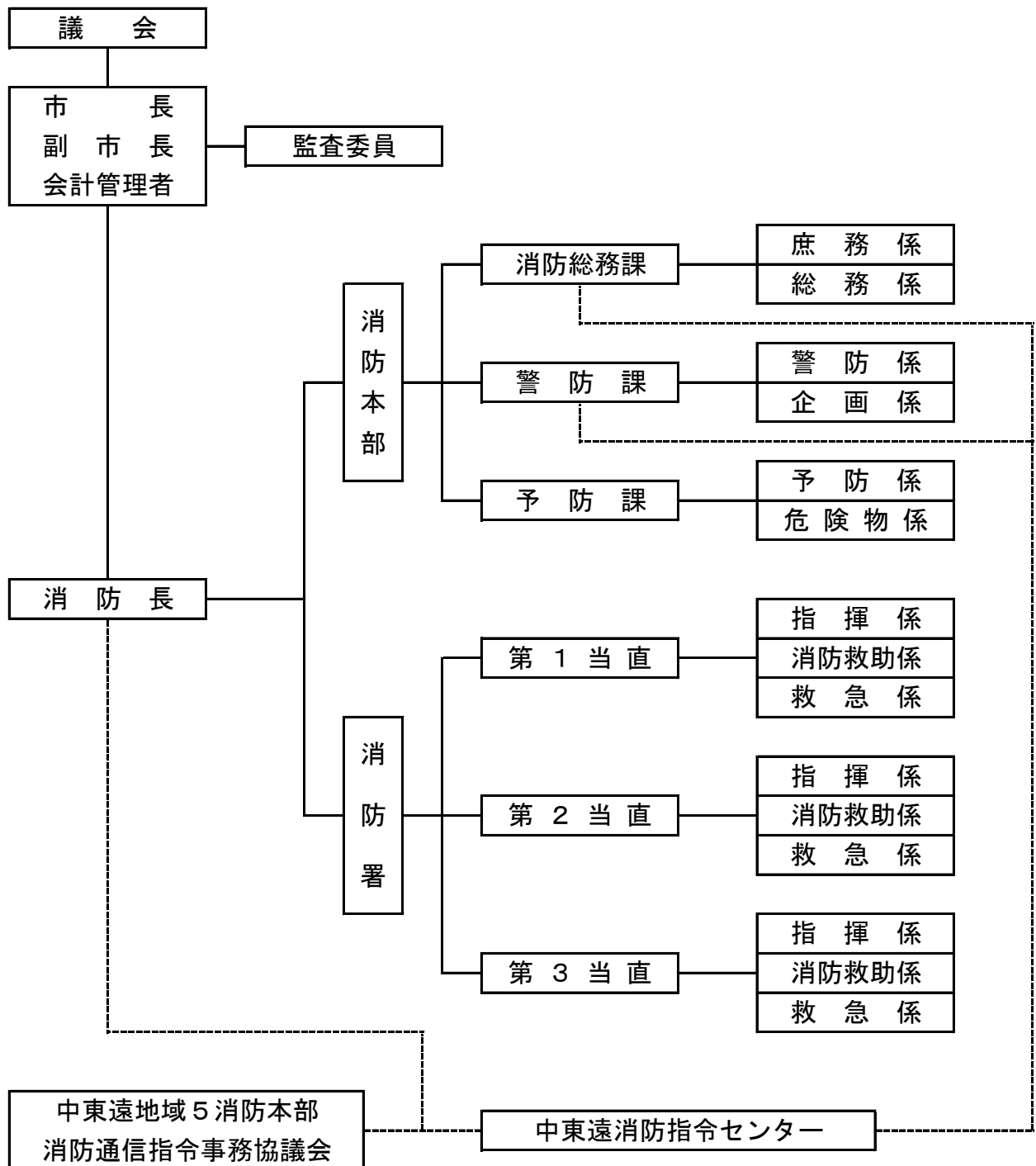
年 月	変 遷
平成28年	4月 令和元年8月まで静岡県消防防災航空隊(防災ヘリ)へ消防職員1名派遣 11月 火災調査車(菊川73)更新整備
平成29年	3月 指揮車(菊川指揮1)更新整備 4月 消防職員1名採用、市役所出向1名、職員62名、嘱託職員1名 7月 関東地区救助技術指導会 引揚救助の部、ロープブリッジ救出の部に出場 10月 水槽付消防ポンプ自動車(菊川ポンプ1)更新整備 12月 高規格救急車(救急菊川3)更新整備
平成30年	4月 消防職員2名採用、市役所出向1名、職員63名、嘱託職員1名 7月 台風12号に伴う配備態勢 強風による負傷者1名搬送 関東地区救助技術指導会 引揚救助の部に出場 9月 台風24号に伴う配備態勢 台風24号の影響により市内で大規模停電が発生 11月 緊急消防援助隊中部ブロック合同訓練 (4日:消防本部庁舎、訓練棟及び消防防災ヘリポートにて石川県大隊との合同訓練を実施) 12月 大型水槽付消防ポンプ自動車(菊川水槽1)更新整備
平成31年	4月 職員62名、嘱託職員1名
令和元年	10月 高規格救急車(救急菊川1)更新整備 台風19号に伴う災害対策本部を設置 市内全域に避難勧告発表 床上浸水24戸、床下浸水123戸
令和2年	4月 消防職員1名採用、職員62名、会計年度任用職員1名
令和3年	4月 消防職員2名採用、職員64名、会計年度任用職員1名 7月 7月3日熱海市土石流災害発生 静岡県消防相互応援協定により、第1次隊出動 8月3日の第11次隊まで派遣
令和4年	1月 救助工作車(菊川救助1)更新整備 4月 静岡県消防学校へ教官として1名派遣 消防職員2名採用、市役所出向1名、職員64名、再任用職員1名、会計年度任用職員1名 9月 台風15号に伴う災害対策本部を設置 床上浸水4戸、床下浸水73戸、道路冠水等23箇所、崩土等120箇所
令和5年	1月 高規格救急車(救急菊川2)更新整備 4月 職員64名、再任用職員1名、会計年度任用職員1名
令和6年	1月 1月1日午後4時10分 能登半島地下16kmを震源とするマグニチュード7.6の能登半島地震が発生 菊川市で震度3を観測 1月1日20時10分緊急消防援助隊静岡県大隊として第1次隊出動 1月21日の第7次隊まで派遣 4月 消防職員1名採用、職員65名、再任用職員1名、会計年度任用職員1名 11月 資機材搬送車(菊川71)更新整備
令和7年	3月 中東遠消防指令センターの高機能消防指令システム全更新 4月 消防職員2名採用、職員66名、再任用職員1名、会計年度任用職員1名 11月 化学消防ポンプ自動車(菊川化学1)更新整備
令和8年	4月 消防職員4名採用、職員66名、再任用職員1名、会計年度任用職員1名

庶務関係

	目	次	
菊川市消防本部組織	-----		- 9 -
消防本部事務分掌	-----		- 10 -
消防署事務分掌	-----		- 13 -
消防職員現勢	-----		- 14 -
1 職員の配置状況	-----		- 14 -
2 階級別年齢及び勤続年数調べ	-----		- 15 -
3 職員研修状況	-----		- 16 -
4 資格取得状況	-----		- 16 -
令和8年度 消防予算	-----		- 17 -
1 市予算と消防予算	-----		- 17 -
2 令和8年度消防費の予算内訳	-----		- 17 -
消防相互応援協定の締結状況	-----		- 18 -
その他の協定等の締結状況	-----		- 18 -

菊川市消防本部組織

(令和8年4月1日 現在)



消防本部事務分掌

【 消防総務課 】

〔 庶務係 〕

- ア 組織の総合調整に関すること。
- イ 消防総務課に関する文書の收受、発送及び保管に関すること。
- ウ 各種調査文書の收受及び担当課との調整に関すること。
- エ 条例、規則その他例規の制定改廃に関すること。
- オ 予算及び決算の取りまとめに関すること。
- カ 職員の任免、服務、給与、研修、福利厚生等に関すること。
- キ 公印の保管に関すること。
- ク 儀礼及び交際に関すること。
- ケ 消防職員委員会に関すること。
- コ 表彰に関すること。
- サ 公務災害補償等に関すること。
- シ 庁舎及び財産の維持管理に関すること。
- ス 消防長会の事務に関すること。
- セ 中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会の事務に関すること。
- ソ その他各課係の所管に属さないこと。

〔 総務係 〕

- ア 消防団の組織運営計画に関すること。
- イ 消防団の施設、車両及び機械器具等の保守点検、維持管理に関すること。
- ウ 消防団の蔵置所及び車両等の整備計画に関すること。
- エ 女性消防団に関すること。
- オ 消防団の自主防災組織への協力に関すること。
- カ 消防団活動の広報に関すること。
- キ 市長部局との連絡調整、連携調整室会議等に関すること。
- ク その他消防団及び総務全般に関すること。

【 警防課 】

〔 警防係 〕

- ア 水火災、地震等の災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- イ 警防課に関する文書の收受、発送及び保管に関すること。
- ウ 消防水利及び地理に関すること。
- エ 消防車両及び機械器具等の整備管理に関すること。
- オ 消防業務の安全管理対策に関すること。
- カ 救急業務の運用に関すること。
- キ 消防通信業務の運用に関すること。
- ク 出動指令業務の運用に関すること。
- ケ 通信施設、情報機器等の整備に関すること。
- コ 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関すること。
- サ 同報無線放送の運用に関すること。
- シ 消防救急無線の整備に関すること。
- ス 各種団体等の消防訓練及び講習に関すること。
- セ 警防訓練の計画に関すること。
- ソ 消防の広報及び広聴に関すること。
- タ 火災警報に関すること。
- チ 消防防災団体との連絡調整に関すること。
- ツ 特殊災害に関すること。
- テ 警防本部の設置に関すること。
- ト 貯水槽の設置及び維持管理に関すること。
- ナ 広域消防相互応援及び協定の手続に関すること。
- ニ 中東遠消防指令センターの運用及び機器の整備に関すること。
- ヌ その他警防に関すること。

〔 企画係 〕

- ア 消防計画の作成に関すること。
- イ 消防施設整備計画の作成に関すること。
- ウ 消防団蔵置所の建設に関すること。
- エ 耐震性貯水槽の設置に関すること。
- オ 消防年報の作成に関すること。
- カ 消防救急広域化の協議調整に関すること。
- キ 消防統計及び消防情報に関すること。
- ク その他警防係の補助に関すること。

【 予防課 】

〔 予防係 〕

- ア 火災予防に係る普及、指導及び広報に関すること。
- イ 予防課に関する文書の收受、発送及び保管に関すること。
- ウ 防火管理者の指導育成に関すること。
- エ 煙火消費認可の受付及び統計、立入調査等に関すること。
- オ 防火対象物の規制に関すること。
- カ 消防対象物の査察及び違反処理に関すること。
- キ 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。
- ク 消防用設備等の検査指導に関すること。
- ケ 防火協力団体の指導育成に関すること。
- コ 火災予防条例に係る届出に関すること。
- サ 消防署との予防事務の調整に関すること。
- シ その他予防に関すること。

〔 危険物係 〕

- ア 危険物施設等の規制に関すること。
- イ 危険物施設等の立入検査並びに違反処理に関すること。
- ウ 危険物取扱者の指導に関すること。
- エ 高圧ガスの消費に係る立入検査等に関すること。
- オ 液化石油ガス設備工事の届出の受理に関すること。
- カ ガス事業法に基づく立入検査等に関すること。
- キ 危険物安全協会の事務に関すること。
- ク 火災の原因及び損害の調査報告に関すること。
- ケ 火災の統計及び被災証明に関すること。
- コ その他危険物に関すること。

消防署事務分掌

〔 指揮係 〕

- ア 災害現場の指揮に関する事。
- イ 消防署に関する文書の收受、発送及び保管に関する事。
- ウ 警防本部の運用支援に関する事。
- エ 火災防ぎょ計画に関する事。
- オ 署員の研修、教養及び訓練に関する事。
- カ 火災予防広報活動並びに火災等の原因及び損害調査に関する事。
- キ 出動指令の実務に関する事。
- ク 消防通信の実務に関する事。
- ケ 通信施設及び情報機械器具等の使用及び維持管理に関する事。
- コ 通信技術の研修及び教養に関する事。
- サ その他消防救助係の補助に関する事。

〔 消防救助係 〕

- ア 水火災、地震等の災害の警戒及び防ぎょの実務に関する事。
- イ 救助業務に関する事。
- ウ 消防水利の維持管理及び地理に関する事。
- エ 車両、消防救助機械器具等の使用及び維持管理に関する事。
- オ 署が所管する防火対象物の予防査察に関する事。
- カ 空地等の調査及び管理指導に関する事。
- キ 署が所管する火災予防条例に係る届出に関する事。
- ク 消防団との連絡共助及び自主防災組織等の訓練指導に関する事。
- ケ 火災及び救助統計に関する事。
- コ 同報無線放送の実務に関する事。
- サ 気象情報及び災害情報の収集及び伝達に関する事。
- シ 中東遠消防指令センターの機器の整備及び保守に関する事。
- ス 火災等の原因及び損害調査に関する事。
- セ その他消防救助に関する事。

〔 救急係 〕

- ア 救急業務に関する事。
- イ 救急統計に関する事。
- ウ 救急法等の講習及び訓練指導に関する事。
- エ 救急機械器具等の使用及び維持管理に関する事。
- オ 救急医療機関その他救急関係機関との連絡及び調整に関する事。
- カ その他救急に関する事。

消防職員現勢

1 職員の配置状況

(令和8年4月1日 現在)

階 級 区 分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総 数	
		65名								
定 数		65名								
実 数		1	9	29	9	5	11	2	66	
消 防 本 部	消 防 長		1						1	
	消 防 次 長									
	消防総務課	消防総務課長							1	5
		庶 務 係							1	
		総 務 係			1	2				
	警防課	警 防 課 長							(1)	3(1)
		警 防 係				1				
		企 画 係			1	1				
	予防課	予 防 課 長			1					6
		予 防 係			1	1		1		
		危 険 物 係				2				
中東遠消防指令センター				3					3	
消 防 署	消 防 署 長			1					1	
	署 長 補 佐			1					1	
	副 署 長									
	第1当直	当 直 司 令			1					15
		指 揮 係				2				
		消 防 救 助 係				1	1	1	4	
		救 急 係				4	1			
	第2当直	当 直 司 令			1					15
		指 揮 係				1		1		
		消 防 救 助 係				2	2		3	
		救 急 係				3	1	1		
	第3当直	当 直 司 令			1					16
		指 揮 係				1	1			
消 防 救 助 係				1	2	1	4			
救 急 係				4	1					

2 階級別年齢及び勤続年数調べ

(令和8年4月1日 現在)

階級 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総数
		平均年齢	60	49	40	32	27	20	54
合計(人)		1	9	29	9	5	11	2	66
年齢 状況	20歳未満						5		5
	20歳～22歳						4		4
	23歳～25歳						2		2
	26歳～28歳					5			5
	29歳～31歳				3				3
	32歳～34歳				6				6
	35歳～37歳			8					8
	38歳～40歳			8					8
	41歳～43歳		2	9					11
	44歳～46歳		2	2					4
	47歳～49歳		2	1					3
	50歳～52歳		1	1					2
	53歳～55歳							2	2
56歳以上	1	2						3	

(令和8年4月1日 現在)

階級 区分		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務職員	総数
		平均勤続年数	39	29	20	13	9	2	0
合計(人)		1	9	29	9	5	11	2	66
勤続 年数 状況	5年未満						9	2	11
	5年～9年				1	3	2		6
	10年～14年			1	5	2			8
	15年～19年			14	3				17
	20年～24年		2	11					13
	25年～29年		3	2					5
	30年～34年		2	1					3
	35年以上	1	2						3

3 職員研修状況

教育機関・科目		実施年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
県 消 防 学 校	初任教育	初 任 科	2	2		1	2
	幹部教育	上 級 幹 部 科	1	1			
		中 級 幹 部 科		1	1		1
		初 級 幹 部 科		1		1	1
	専科教育	警 防 科	1	1	1	1	1
		予 防 査 察 ・ 危 険 物 科		1	1		1
		火 災 調 査 科	1	1	1	1	1
		救 急 科	2	2	2	2	2
		救 助 科	1	1	1	1	1
	特別教育	女 性 消 防 吏 員 講 習			1		
		指 令 セ ン タ ー 員 講 習		1		1	
		実 践 的 大 規 模 災 害 対 応 講 習		1	1		
	救急救命士養成課程			1	1	1	1
指 導 救 命 士 養 成 課 程						1	

4 資格取得状況

(令和8年4月1日 現在)

		資格名称	取得率	総数			資格名称	取得率	総数
運 転 免 許	予 防 関 係	大 型 第 1 種	75.0%	48	危 険 物 取 扱 者	乙 種 1 類	32.8%	21	
		中 型 第 1 種 (限 定 8 t)	84.4%	54		2 類	26.6%	17	
		普 通 第 1 種	100.0%	64		3 類	18.8%	12	
		大 型 特 殊	4.7%	3		4 類	84.4%	54	
		大 型 自 動 二 輪	7.8%	5		5 類	17.2%	11	
		普 通 自 動 二 輪	32.8%	21		6 類	39.1%	25	
安 全 管 理	予 防 関 係	小 型 移 動 式 ク レ ー ン	59.4%	38		丙 種	7.8%	5	
		玉 掛 け 技 能 講 習 終 了 者	60.9%	39		防 火 技 術 者 認 定 者	14.1%	9	
		小 型 車 両 建 設 機 械	17.2%	11		設 備 技 術 者 認 定 者	9.4%	6	
		高 所 作 業 (1 0 m 未 満)	9.4%	6		危 険 物 技 術 者 認 定 者	7.8%	5	
救 急 関 係	無 線 其 他	救 急 救 命 士	35.9%	23	無 線 2 級 陸 上 特 殊 無 線 技 士	93.8%	60		
		薬 剤 投 与 認 定	100.0%	23	潜 水 士	4.7%	3		
		気 管 挿 管 実 習 認 定	91.3%	21	C 力 ー ド	7.8%	5		
		ビ デ オ 喉 頭 鏡 認 定	69.6%	16	静 岡 県 防 災 士	25.0%	16		
		処 置 拡 大 認 定	87.0%	19	衛 生 管 理 者	7.8%	5		
		救 急 隊 員 有 資 格 者 (救 命 士 除 く)	73.2%	30	酸 素 欠 乏 危 険 作 業 主 任 者	51.6%	33		
		応 急 手 当 指 導 員	92.2%	59					

※上記表は、消防吏員(64人)の資格取得状況です。なお、救急関係の水色部分は救急救命士の取得割合です。

<消防吏員の育成>

救急救命士の国家資格取得、救急隊員の養成、救助技術の習得、予防業務の研修などへ職員を派遣し、知識及び技術の向上を図ります。また、安全管理などに関する各種資格を取得するための職員派遣を計画的に実施しています。

令和8年度 消防予算

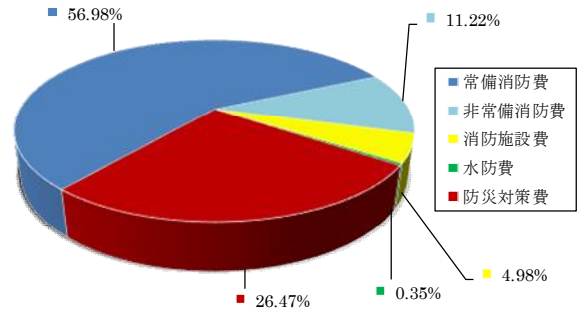
複雑多様化する火災・救急・災害活動では、迅速かつ的確な対応が求められるため、活動に必要な資機材の整備と維持管理や耐震性防火水槽の整備などを行うとともに、地域防災の担い手である消防団の蔵置所建替えや消防ポンプ自動車の更新、活動環境の整備と団員の確保を進めることにより、消防体制の充実及び消防力の強化を図ります。

1 市予算と消防予算

(単位：千円)

		令和7年度	令和8年度
一般会計当初予算額		24,571,000	23,598,000
消防費当初予算額		1,658,995	1,097,449
内 訳	常備消防費	606,672	625,352
	非常備消防費	129,040	123,092
	消防施設費	155,644	54,715
	水防費	3,788	3,829
	防災対策費	763,851	290,461

【消費費当初予算】



※水防費・防災対策費については、危機管理課において執行

2 令和8年度消防費の予算内訳

(単位：千円)

節	説明	常備消防費	非常備消防費	消防施設費	水防費	防災対策費
1	報酬	2,601	26,709		1,464	24
2	給料	256,911				9,785
3	職員手当等	201,221	700		1,800	7,304
4	共済費	86,347				3,282
5	災害補償費		1			
7	報償費		10,794			1,229
8	旅費	802	1,303		22	529
9	交際費		30			
10	需用費	16,872	6,584	477	241	26,212
11	役務費	2,479	1,727	21	136	1,894
12	委託料	20,677	4,285		40	32,194
13	使用料及び賃借料	2,883	580	227	40	3,546
14	工事請負費		45,371	20,537		183,171
15	原材料費				77	
17	備品購入費	7,084	7,693	28,963		918
18	負担金、補助及び交付金	27,040	16,823			17,825
21	補償、補填及び賠償金					1
26	公課費	435	492	41	9	
27	繰出金			4,449		2,547
小計		625,352	123,092	54,715	3,829	290,461
合計		1,097,449				

消防相互応援協定の締結状況

(令和8年4月1日 現在)

区分	消防相互応援協定名称	締結年月日	締結先
一般	牧之原電話局区内における消防相互応援に関する協定	S49年4月24日	吉田町・牧之原市広域施設組合、 牧之原市・御前崎市広域施設組合
	上朝比奈電話局区内における消防相互応援に関する協定	S51年5月18日	牧之原市・御前崎市広域施設組合
	静岡県消防相互応援協定	S62年4月1日 (H28年3月10日)	静岡県下全市町・消防に関する事務を処理する一部事務組合
	静岡県防災ヘリコプター応援協定	H9年3月24日	静岡県下全市町(浜松市、静岡市を除く)・消防に関する事務を処理する一部事務組合
	菊川市・御前崎市間における消防相互応援に関する協定	H28年3月25日	御前崎市
	静岡市・菊川市の消防管轄隣接区域における相互応援に関する協定	H28年4月1日	静岡市
	東遠地区3市消防本部の連携及び協力に関する協定	R4年12月12日	掛川市、御前崎市
東名高速	静岡県西部地区内高速道路における消防相互応援協定	H17年7月1日	浜松市、磐田市、掛川市、 袋井市森町広域行政組合
	東名高速道路内の相良牧之原、菊川インターチェンジ間における消防相互応援に関する協定	H28年4月1日	静岡市

その他の協定等の締結状況

(令和8年4月1日 現在)

区分	協定等名称	締結年月日	締結先
通信・情報	移動体電話からの119番通報の取扱いに関する協定	H10年10月1日	県内消防本部
	緊急通報システムの運営等に関する協定	H12年3月24日	(株)日本緊急通報サービス
	中東遠地域5消防本部消防通信指令事務協議会の設置に関する協議書	H23年12月27日	磐田市、掛川市、御前崎市、 袋井市森町広域行政組合
救急	救急救命士及び高規格救急車の運用に伴う申し合わせ	H10年3月5日	菊川市立総合病院
	救急業務に関する協定	H11年4月1日	御前崎市立総合病院
	静岡県西部地区救急業務研究会の実施に関する協定	H18年4月1日	県西部地区消防本部
その他	静岡空港における消火救難活動に関する協定	H31年3月19日	富士山静岡空港株式会社、静岡市、 御前崎市、志太広域事務組合、 掛川市

<広域応援体制の整備>

市町等の単独消防では対応できない能登半島地震のような大規模災害等が発生した場合、県内の各消防本部が互いに協力し合えるように相互応援協定の策定や締結を行い、大規模災害に備えています。

目 次	
防火対象物・防火管理	----- - 20 -
1 防火対象物及び立入実施状況	----- - 20 -
2 防火管理者を必要とする対象物数	----- - 21 -
3 面積別防火対象物数	----- - 22 -
4 防火対象物の階別状況	----- - 23 -
消防設備等及び建築指導	----- - 24 -
1 消防用設備等・特殊消防用設備等用途別検査状況	----- - 24 -
2 用途・月別建築確認に係る消防同意件数	----- - 25 -
3 工事種別・月別建築確認に係る消防同意等受付件数	----- - 25 -
4 予防関係各種届出・申請件数	----- - 26 -
危険物の規制・指導	----- - 27 -
1 危険物施設状況	----- - 27 -
2 危険物施設の立入検査実施状況	----- - 27 -
3 危険物施設の許可・完成検査及び廃止届等の状況	----- - 28 -
4 令和7年度危険物設置許可等申請手数料の納付状況	----- - 28 -
広報・指導	----- - 29 -
<火災予防運動（令和7年度中）>	----- - 29 -
<広報活動>	----- - 29 -
DVD紹介！ 予防課・危険物安全協会	----- - 29 -
危険物安全協会	----- - 30 -

防火対象物・防火管理

1 防火対象物及び立入実施状況

(令和8年3月31日 現在)

防火対象物		防火対象物数	所管区分		立入検査数
項	用途		予防課	消防署	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	1
	ロ	公会堂又は集会場	65(2)	23(1)	42(1)
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	1		1
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	3	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ	カラオケボックス等	2(1)	2(1)	1
3	イ	待合、料理店等			
	ロ	飲食店	35(1)	7(1)	28
4		百貨店、マーケット、店舗	86(3)	47	39(3)
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	14(2)	14(2)	3
	ロ	寄宿舍、下宿又は共同住宅	531(6)	113(1)	418(5)
6	イ	病院、診療所又は助産所	26(1)	15	11(1)
	ロ	特別養護老人ホーム等	21	21	10
	ハ	保育園、老人デイサービスセンター等	59(1)	46(1)	13
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2	2	
7		小・中学校、高校、各種学校	47(1)	44(1)	3
8		図書館、博物館、美術館等	3	3	
9	イ	蒸気・熱気公衆浴場			
	ロ	イ以外の公衆浴場			
10		車両の停車場			
11		神社、寺院、教会等	24	3	21
12	イ	工場又は作業場	576(33)	356(12)	220(21)
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫又は駐車場	24(2)	16	8(2)
	ロ	飛行機の格納庫			
14		倉庫	335(16)	233(5)	102(11)
15		前各号に該当しない事業場	190(8)	136(4)	54(4)
16	イ	特定複合用途防火対象物	87(6)	50(4)	37(2)
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	43(3)	22(1)	21(2)
16の1		地下街			
16の2		準地下街			
17		重要文化財等の建造物	7	7	5
18		延長50m以上のアーケード			
19		市長の指定する山林			
20		総務省令で定める舟車			
合 計		2,183(86)	1,165(34)	1,018(52)	344

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

2 防火管理者を必要とする対象物数

(令和8年3月31日 現在)

防火対象物		防火管理者を必要とする防火対象物数	防火対象物の種別	
項	用途		甲種防火対象物	乙種防火対象物
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2	2	
	ロ 公会堂又は集会場	65(2)	24(1)	41(1)
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等	1		1
	ロ 遊技場又はダンスホール	3	3	
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗			
	ニ カラオケボックス等	2(1)	2(1)	
3	イ 待合、料理店等			
	ロ 飲食店	30	6	24
4	百貨店、マーケット、店舗	60	42	18
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	7	7	
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	61	47	14
6	イ 病院、診療所又は助産所	13	13	
	ロ 特別養護老人ホーム等	13	13	
	ハ 保育園、老人デイサービスセンター等	37	30	7
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	2	2	
7	小・中学校、高校、各種学校	44	42	2
8	図書館、博物館、美術館等	3	3	
9	イ 蒸気・熱気公衆浴場			
	ロ イ以外の公衆浴場			
10	車両の停車場			
11	神社、寺院、教会等	18	12	6
12	イ 工場又は作業場	119	118	1
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ			
13	イ 自動車車庫又は駐車場	14	14	
	ロ 飛行機の格納庫			
14	倉庫	96(2)	92(2)	4
15	前各号に該当しない事業場	65(1)	61(1)	4
16	イ 特定複合用途防火対象物	38(2)	26(2)	12
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	3	3	
16の1	地下街			
16の2	準地下街			
17	重要文化財等の建造物	6(1)	6(1)	
18	延長50m以上のアーケード			
19	市長の指定する山林			
20	総務省令で定める舟車			
合 計		702(9)	568(8)	134(1)

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物のうち防火管理者を必要とする対象物数を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

3 面積別防火対象物数

(令和8年3月31日 現在)

防火対象物		防火対象物	500未満 (㎡)	500以上 1,000未満 (㎡)	1,000以上 3,000未満 (㎡)	3,000以上 5,000未満 (㎡)	5,000以上 10,000未満 (㎡)	10,000 以上 (㎡)
項	用途							
1	イ 劇場、映画館、演芸場、観覧場	2			1		1	
	ロ 公会堂又は集会場	65(2)	55(1)	7	2(1)	1		
2	イ キャバレー、ナイトクラブ等	1	1					
	ロ 遊技場又はダンスホール	3		1	2			
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ カラオケボックス等	2(1)	2(1)					
3	イ 待合、料理店等							
	ロ 飲食店	35(1)	34(1)	1				
4	百貨店、マーケット、店舗	86(3)	48(3)	14	19	3	2	
5	イ 旅館、ホテル、宿泊所	14(2)	8(2)	2	4			
	ロ 寄宿舍、下宿又は共同住宅	531(6)	427(5)	60	38	4	2(1)	
6	イ 病院、診療所又は助産所	26(1)	18(1)	4	3			1
	ロ 特別養護老人ホーム等	21	10	3	7	1		
	ハ 保育園、老人デイサービスセンター等	59(1)	40(1)	9	10			
	ニ 幼稚園又は特別支援学校	2	1	1				
7	小・中学校、高校、各種学校	47(1)	9	11(1)	15	6	5	1
8	図書館、博物館、美術館等	3			3			
9	イ 蒸気・熱気公衆浴場							
	ロ イ以外の公衆浴場							
10	車両の停車場							
11	神社、寺院、教会等	24	8	16				
12	イ 工場又は作業場	576(33)	291(23)	123(6)	101(3)	33	17	11(1)
	ロ 映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ 自動車車庫又は駐車場	24(2)	23(2)	1				
	ロ 飛行機の格納庫							
14	倉庫	335(16)	220(13)	65(1)	42(2)	2	4	2
15	前各号に該当しない事業場	190(8)	81(3)	63(1)	38(3)	6	2(1)	
16	イ 特定複合用途防火対象物	87(6)	64(5)	11(1)	9		3	
	ロ イ以外の複合用途防火対象物	43(3)	24(2)	13(1)	4	1	1	
16の1	地下街							
16の2	準地下街							
17	重要文化財等の建造物	7	7					
18	延長50m以上のアーケード							
19	市長の指定する山林							
20	総務省令で定める舟車							
合 計		2,183(86)	1,371(63)	405(11)	298(9)	57	37(2)	15(1)

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

4 防火対象物の階別状況

(令和8年3月31日 現在)

防火対象物		防火対象物	階 数						
項	用 途		1階	2階	3階	4階	5階	6階以上	
1	イ	劇場、映画館、演芸場、観覧場	2		1			1	
	ロ	公会堂又は集会場	65(2)	49	15(2)	1			
2	イ	キャバレー、ナイトクラブ等	1	1					
	ロ	遊技場又はダンスホール	3	1	2				
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗							
	ニ	カラオケボックス等	2(1)	2(1)					
3	イ	待合、料理店等							
	ロ	飲食店	35(1)	25	9(1)	1			
4		百貨店、マーケット、店舗	86(3)	56(1)	28(2)	2			
5	イ	旅館、ホテル、宿泊所	14(2)	2	8(2)	1	1		2
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	531(6)	2	409(4)	64(1)	33(1)	19	4
6	イ	病院、診療所又は助産所	26(1)	7(1)	15	3	1		
	ロ	特別養護老人ホーム等	21	9	9	3			
	ハ	保育園、老人デイサービスセンター等	59(1)	33	21(1)	5			
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2		1	1			
7		小・中学校、高校、各種学校	47(1)	15(1)	12	13	5	2	
8		図書館、博物館、美術館等	3	2		1			
9	イ	蒸気・熱気公衆浴場							
	ロ	イ以外の公衆浴場							
10		車両の停車場							
11		神社、寺院、教会等	24	12	12				
12	イ	工場又は作業場	576(33)	332(19)	227(13)	13(1)	1	1	2
	ロ	映画スタジオ、テレビスタジオ							
13	イ	自動車車庫又は駐車場	24(2)	22(2)	2				
	ロ	飛行機の格納庫							
14		倉庫	335(16)	243(9)	89(7)	2		1	
15		前各号に該当しない事業場	190(8)	73(3)	91(3)	22(2)	3	1	
16	イ	特定複合用途防火対象物	87(6)	13(1)	45(3)	26(2)	3		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	43(3)	6	27(3)	8	2		
16の1		地下街							
16の2		準地下街							
17		重要文化財等の建造物	7	4	3				
18		延長50m以上のアーケード							
19		市長の指定する山林							
20		総務省令で定める舟車							
合 計			2,183(86)	909(38)	1,026(41)	166(6)	49(1)	25	8

※ 菊川市消防本部火災予防査察等に関する規程（平成18年菊川市告示第145号）別表で定める第1種及び第2種査察対象物に該当する防火対象物を計上したものである。

※ () 内の数字は、第1種及び第2種査察対象物のうち、基準日現在における休止等の防火対象物数（内数）を示す。

消防設備等及び建築指導

1 消防用設備等・特殊消防用設備等用途別検査状況

(令和8年3月31日 現在)

用途別 消防用設備等 特殊消防用設備等	合 計	劇 場 等	遊 技 場 等	飲 食 店 等	店 舗 等	旅 館 ・ ホ テ ル	共 同 住 宅 等	病 院 ・ 診 療 所	福 祉 施 設 等	幼 稚 園 等	学 校 等	車 両 の 停 車 場	工 場 ・ 作 業 場	自 動 車 車 庫	倉 庫	事 務 所 等	複 合 用 途
消 火 器	15						1						8		1	3	2
屋 内 消 火 栓 設 備	3												3				
ス プ リ ン ク ラ ー 設 備																	
水 噴 霧 消 火 設 備																	
泡 消 火 設 備																	
不 活 性 ガ ス 消 火 設 備																	
ハ ロ ゲ ン 化 物 消 火 設 備																	
粉 末 消 火 設 備	3												3				
屋 外 消 火 栓 設 備	7												5	1	1		
動 力 消 防 ポ ン プ 設 備	1												1				
自 動 火 災 報 知 設 備	40	1			4		1				4		20		1	7	2
ガ ス 漏 れ 火 災 警 報 器																	
漏 電 火 災 警 報 器																	
消 防 機 関 へ 通 報 す る 火 災 報 知 設 備																	
非 常 警 報 設 備																	
非 常 放 送 設 備	3				1						2						
避 難 器 具	2						1						1				
誘 導 灯	12				1								7		1	2	1
誘 導 標 識	4												1			2	1
消 防 用 水	2												2				
排 煙 設 備																	
連 結 送 水 管																	
非 常 コ ン セ ン ト 設 備																	
総 合 操 作 盤																	
パ ッ ケ ー ジ 型 消 火 設 備																	
パ ッ ケ ー ジ 型 自 動 消 火 設 備																	
合 計	92	1			6		3				6		51	1	4	14	6

2 用途・月別建築確認に係る消防同意件数

(令和8年3月31日 現在)

用途別	月別	合計	受付件数											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
劇場、映画館、観覧場														
公会堂又は集会場														
遊技場又はダンスホール														
待合、料理店、飲食店														
マーケット、店舗又は展示場														
旅館、ホテル、宿泊所														
寄宿所、下宿又は共同住宅		4					1		1		2			
病院、診療所又は助産所														
特別養護老人ホーム等		1												1
保育園、老人デイサービスセンター等														
幼稚園、養護学校														
小・中学校、高校、各種学校														
車両の停車場														
神社、寺院、教会														
工場又は作業所		3		1					1	1				
自動車車庫又は駐車場														
倉庫		3								1	1			1
全各号に該当しない事業場		5				1		1	1	1		1		
特定複合用途防火対象物														
非特定複合用途防火対象物														
専用住宅等		16	1	1	1	2	1	1	1	1	3	1	2	1
合計		32	1	2	1	3	2	3	5	3	5	2	2	3

3 工事種別・月別建築確認に係る消防同意等受付件数

(令和8年3月31日 現在)

種別	月別	合計	受付件数											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
確認申請	新築	24	1		1	2	2	2	4	2	4	2	2	2
	増築	8		2		1		1	1	1	1			1
	用途変更													
	修繕													
	移転													
	計画変更													
許可申請	43条第2項													
	51条													
計画通知														
合計		32	1	2	1	3	2	3	5	3	5	2	2	3

4 予防関係各種届出・申請件数

(令和8年3月31日 現在)

種 別	月 別 合 計	受 付 件 数											
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
工事整備対象設備等着工届出	55	6	4	4	4	2	6	4	15	3		2	5
消防用設備等設置届出	123	4	7	5	6	15	5	5	17	9	10	9	31
消防用設備等点検結果報告書	691	60	61	63	69	83	51	40	44	55	43	54	68
防火対象物点検結果報告書	39	2	1		16	6	2	2	3	2		3	2
防災管理点検報告書	1								1				
防火対象物使用開始届出	26	1	1			3	3	1		5	2	3	7
防火管理者選任・解任届出	103	22	20	9	8	5	9	7		2	8	1	12
防災管理者選任・解任届出													
管理権限者変更届出	1												1
火元責任者選任・解任届出	21	8		2	1	2				2	1	2	3
消防計画（作成・変更）届出	108	25	19	10	9	4	10	8			9	2	12
防災管理消防計画（作成・変更）届出	1	1											
自衛消防訓練実施通知書	344	42	32	27	18	32	35	26	44	36	16	13	23
自衛消防組織設置（変更）届出	1	1											
変電設備等設置届出	61	4	1	2		6	3	11	2	4	3	2	23
炉等設置届出	16				4	4		1	1	1	1	3	1
少量危険物貯蔵取扱届出	36	1	3		3	1	1		2	1	1	6	17
少量危険物貯蔵取扱廃止届出	3	1									1	1	
指定可燃物貯蔵取扱届出	29		1						1	12			15
指定可燃物貯蔵取扱廃止届出													
圧縮アセチレンガス等貯蔵取扱届出	19		1	3	4	1	2	2		1	1	1	3
圧縮アセチレンガス等廃止届出	5	1	2	2									
火災と紛らわしい行為届出	237	5	14	7	12	29	36	20	34	31	17	18	14
煙火打上（仕掛）届出	7				1		4	1				1	
露店等の開設の届出	46	4	3	1	8	2	3	11	5	1	2	3	3
水道断水・減水届出													
道路工事届出	130	8	9	10	12	13	15	12	17	11	11	5	7
消防用設備等特例申請	11	3	1			3	2						2
防火対象物点検報告特例認定申請	1					1							
火薬類消費許可申請	5		1		1	1		1	1				
禁止行為解除申請	7	3			1	1		1					1
表示マーク交付（更新）申請													
防火管理修了証再交付申請	3			1			2						
危険物許可証再交付申請	5							1	3				1
合 計	2,135	202	181	146	177	214	189	154	190	176	126	129	251

危険物の規制・指導

1 危険物施設状況

(令和8年3月31日 現在)

種 別		月 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油		販 売	一 般
												営 業 所	自 家 用		
施 設 数			234	7	58	39	16	17	1	11	5	11	11		58
種 別	第 1 類														
	第 2 類		4		3						1				
	第 3 類		2		2										
	第 4 類		215	6	47	39	16	17	1	11	4	11	11		52
	第 5 類														
	第 6 類														
	混 在		13	1	6										6
倍 数 別	5 倍以下		100		26	14	7	5	1	8	2		3		34
	5 倍を超え 10倍以下		47		9	11	9	3			2		1		12
	10倍を超え 50倍以下		50	4	12	9		4		3	1		6		11
	50倍を超え 100倍以下		15	3	6	1		1				2	1		1
	100倍を超え 150倍以下		5		3			1				1			
	150倍を超え 200倍以下		4		1			1				2			
	200倍を超え 1,000倍以下		13		1	4		2				6			

2 危険物施設の立入検査実施状況

(令和8年3月31日 現在)

種 別		月 別	合 計	製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所				
					屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油		販 売	一 般
												営 業 所	自 家 用		
立 入 検 査 実 施 施 設 数			162	7	43	28	4	10	1	11	5	11	10		32
立 入 検 査 実 施 回 数			162	7	43	28	4	10	1	11	5	11	10		32

3 危険物施設の許可・完成検査及び廃止届等の状況

(令和8年3月31日 現在)

種 別	月 別	合 計	製 造 所	貯蔵所							取扱所			
				屋 内	屋 外 タ ン ク	屋 内 タ ン ク	地 下 タ ン ク	簡 易 タ ン ク	移 動 タ ン ク	屋 外	給 油		販 売	一 般
											営 業 所	自 家 用		
許 可	設 置	3							1	1				1
	変 更	22	6	1	4				1	1	1			8
完 成	設 置	6		1					1					4
	変 更	20	5	1	2				1		1			10
廃 止 届 出 等		5			1				2					2

4 令和7年度危険物設置許可等申請手数料の納付状況

(令和8年3月31日 現在)

項目	合 計	設置・変更 許可申請 手数料	設置・変更 完成検査 申請手数料	仮使用等 承認申請 手数料	タンク検査 手数料	煙火消費 許可申請 手数料	許可等 再交付 申請手数料
月別							
4 月	152,150	85,000	61,750	5,400			
5 月	72,300	39,000	19,500	5,400		7,900	500
6 月	31,400	26,000		5,400			
7 月	79,700	32,500	26,000	5,400		15,800	
8 月	99,800	58,500	19,500	10,800	11,000		
9 月	96,300	45,500	39,000	10,800			1,000
10 月	148,350	49,500	71,750	10,800		15,800	500
11 月	39,900	33,000		5,400			1,500
12 月	24,900	19,500		5,400			
1 月	38,400	33,000		5,400			
2 月	76,050	39,000	26,250	10,800			
3 月	145,750	79,000	39,250	27,000			500
合 計	1,005,000	539,500	303,000	108,000	11,000	39,500	4,000

広報指導

<火災予防運動（令和7年度中）>

危険物安全週間・・・6月8日～6月14日
 秋の火災予防運動・・・11月9日～11月15日
 文化財防火デー・・・1月26日
 春の火災予防運動・・・3月1日～3月7日

<広報活動>

火災発生の原因は、大部分が火気を取り扱う時のちょっとした不注意によるものです。一人ひとりが火災予防を心がけることによって、火災のほとんどを防ぐことができます。消防本部では、春と秋の火災予防運動実施期間を中心に、防火知識の普及と防火意識の高揚を図り、広報誌や同報無線、SNS等でも火災予防を呼び掛けています。また、幼年消防クラブ活動をはじめ、子どもの成長段階にあわせた防火思想の育成に取り組んでいます。

DVD紹介！・・・DVDの貸し出しをしますので、お申し込みください。

◎菊川市消防本部予防課 所有

	題名	再生時間	対象等				
			子供	防火	危険物	地震等	救急
D V D	火遊びは火事のもと・ケンタとニャンタの火の用心	13分	◎				
	地震に備えて今、やるべきこと	23分			◎		
	火災事例から学ぶ「店舗火災編」	44分		◎			
	カルガモ親子の火の用心	13分	◎				
	マジカルブータの火あそびはあぶないよ	15分	◎				
	のぶながくんのみんなで約束 火の用心	10分	◎				
	やめよう火あそび火事のもと～妖怪ヒザマに気をつけよう～	12分	◎				

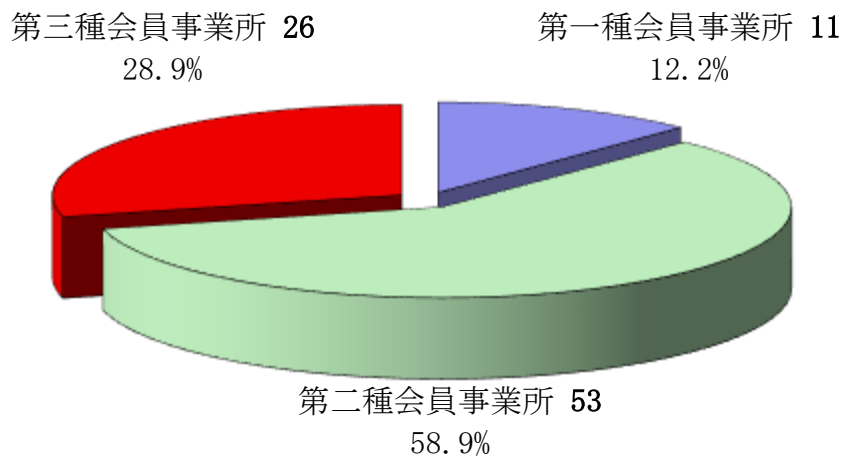
◎菊川市危険物安全協会 所有

	題名	再生時間	対象等				
			子供	防火	危険物	地震等	救急
D V D	第4類危険物の火災事故を防げ	30分			◎		
	危険物施設におけるヒヤリハット	37分			◎		
	危険物施設の事故事例に学ぶ保安対策	37分			◎		
	その腐食を見逃すな！	30分			◎		
	給油取扱所における事故防止対策	34分			◎		
	映像でわかる地下貯蔵タンクの概要	31分			◎		
	危険物取扱者の地震発生時の対応	38分				◎	
	映像でわかる移動タンク貯蔵所	31分			◎		
	事故事例から学ぶ 危険物の保安対策	31分			◎		
	震災時における危険物の仮貯蔵・仮取扱い	30分				◎	
	危険物施設におけるヒューマンエラー	37分			◎		
	危険物事故とリスク	30分			◎		
	危険物の性状に応じた火災予防と消火方法	38分			◎		
	事故事例から学ぶ単独荷卸し作業の安全対策	41分			◎		
	Know Why 危険物施設における保安教育の充実	33分			◎		
	備えあれば憂いなし～震災に備えて危険物施設にできること～	29分				◎	
	暮らしの中で危険物を安全に取扱いために	26分			◎		
	ぬらすな×キケン！ 禁水性物質の性状に応じた火災予防と消火方法	26分			◎		
安心・安全なガソリンスタンド業務のために	35分			◎			

【 危 険 物 安 全 協 会 】

- 1 名 称 菊川市危険物安全協会
- 2 事務局所在地 静岡県菊川市東横地385番地
菊川市消防本部 予防課内
- 3 設立年月日 平成17年6月7日
- 4 会 員

給油取扱所	関係事業所（第一種会員）	11 会員
工場、一般	関係事業所（第二種会員）	53 会員
茶 工 場	関係事業所（第三種会員）	26 会員



5 主 な 事 業

- (1) 危険物取扱者試験 予備講習会の開催(年3回実施)
- (2) 危険物安全週間を中心に会員及び住民に危険物の安全管理を啓蒙
- (3) 危険物保安管理者の資質向上を図るため、優良事業所の視察を実施
- (4) 危険物保安管理講習会等の開催
- (5) 危険物防災訓練の実施
- (6) 危険物の取り扱いに関する資料の配布

火災関係

目	次
令和7年中の火災統計	----- - 32 -
1 火災の概要	----- - 32 -
2 過去10年間の火災推移	----- - 32 -
3 月別火災発生状況	----- - 33 -
4 原因別火災発生状況	----- - 34 -
過去10年間の火災件数と損害額	----- - 35 -
月別の火災件数と損害額	----- - 35 -
原因別の火災件数と損害額	----- - 36 -
曜日別の火災件数と損害額	----- - 36 -
時間別の火災件数と損害額	----- - 37 -
湿度別の火災件数と損害額	----- - 37 -
風速別の火災件数と損害額	----- - 38 -
分団別の火災件数と損害額	----- - 38 -
火災覚知別状況	----- - 39 -
初期消火の状況	----- - 39 -
初期消火実施率	----- - 39 -
初期消火実施結果割合	----- - 39 -
火災出動人員等	----- - 40 -
過去10年間の死傷者発生状況	----- - 40 -
全国統一標語	----- - 41 -

令和7年中の火災統計

1 火災の概要

令和7年中における出火件数は31件で、前年と比べ16件の増加となりました。種別ごとにみると、建物火災が8件、車両火災が3件、その他の火災が20件発生しました。

前年と比較すると、建物火災が2件、車両火災が1件、その他の火災が13件増加しています。

損害額は7,187千円で、前年に比べ46,548千円の減少となりました。

また、建物火災の焼損面積は360㎡で、火災による人的被害は、死者1名、負傷者2名が発生しています。

2 過去10年間の火災推移

区分 年別	合計	火災件数				焼損面積		損害額 (千円)	死傷者		り災	
		建物	林野	車両	その他	建物 (㎡)	林野 (a)		死者	負傷者	世帯数	人員
平成28年	15	7	1	1	6	511	38	10,907	0	2	7	20
平成29年	15	4	0	0	11	162	0	3,328	0	0	1	3
平成30年	24	8	0	4	12	684	0	24,005	1	1	3	9
令和元年	16	7	0	2	7	135	0	5,103	0	1	6	23
令和2年	17	9	0	3	5	278	0	7,063	2	1	6	20
令和3年	17	7	0	2	8	144	0	10,154	0	1	5	8
令和4年	14	6	0	2	6	232	0	19,767	0	1	3	4
令和5年	15	7	1	2	5	310	16	5,695	1	2	6	17
令和6年	15	6	0	2	7	656	0	53,735	1	4	2	3
令和7年	31	8	0	3	20	360	0	7,187	1	2	4	5

注) 小数点以下四捨五入

3 月別火災発生状況

(令和7年中)

区分 月別	火災件数	火災種別(件)				焼損面積(建物㎡)				り災世帯			死傷者		
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損	り災人員	死者	傷者
1月	2	1			1										
2月	3			1	2										2
3月	2				2										
4月															
5月	3	2		1		340				2			3	1	
6月															
7月	3				3										
8月	1			1											
9月	3				3										
10月	1	1										1	1		
11月	6	1			5										
12月	7	3			4	20						1	1		
合計	31	8		3	20	360				2		2	5	1	2

(令和7年中)

区分 月別	焼損面積			損害額(千円)						
	建物(㎡)		林野 (a)	建物			林野	車両	その他	合計
	面積	表面積		合計	建物	収容物				
1月				2	2				2	4
2月								667		667
3月										
4月										
5月	340	21		4,885	4,681	204		131	129	5,145
6月										
7月										
8月								263		263
9月										
10月				3	1	2				3
11月										
12月	20	3		1,094	961	133		11		1,105
合計	360	24		5,984	5,645	339		1,072	131	7,187

4 原因別火災発生状況

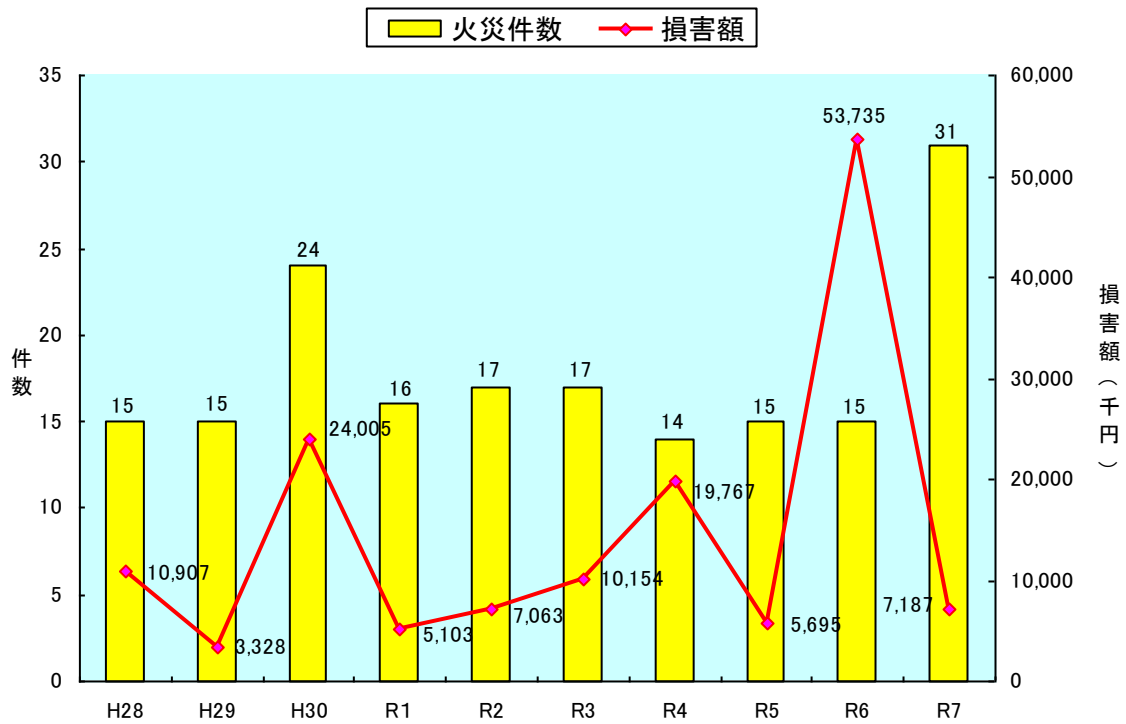
(令和7年中)

区分 原因別	火災件数	火災種別(件)				焼損面積(建物㎡)				り災世帯			り災人員	死傷者	
		建物	林野	車両	その他	全焼	半焼	部分焼	ぼや	全損	半損	小損		死者	傷者
たばこ	4	4				122				1		1		1	
たき火・草焼き	15				15										
コンロ	1	1						5				1	1		
火遊び															
焼却炉															
ストーブ															
電気機器等配線	2				2										
排気管	1			1											
放火・放火の疑い	1				1										
上記以外又は不明	7	3		2	2	233				1			2		2
合計	31	8		3	20	355		5		2		2	3	1	2

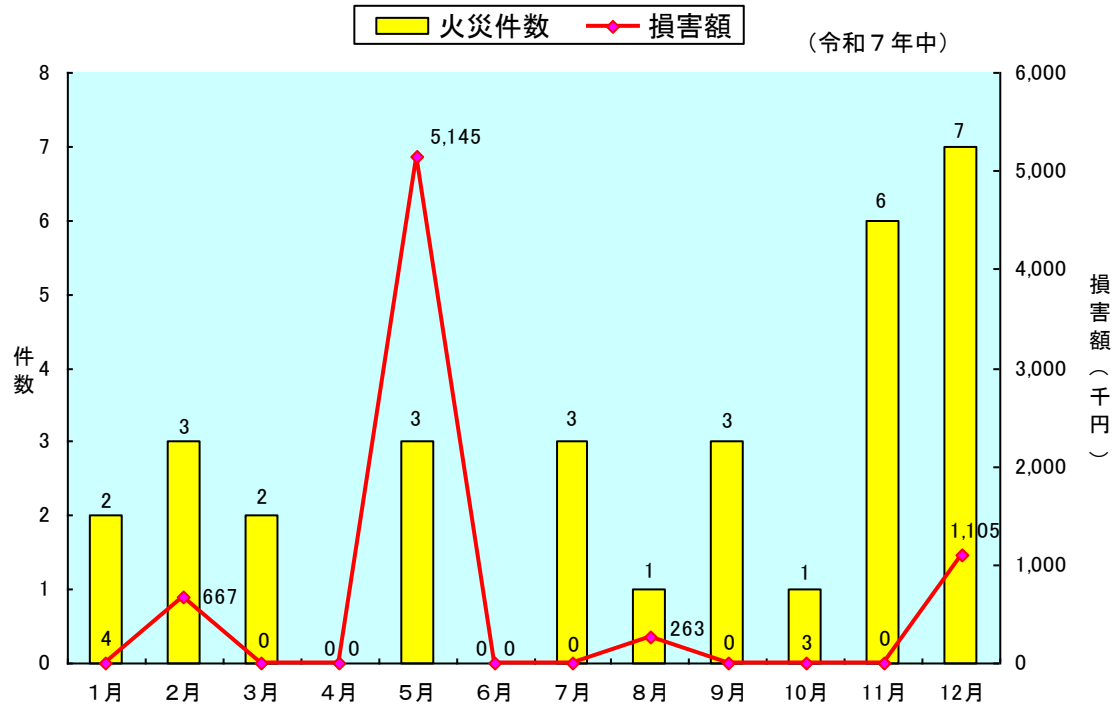
(令和7年中)

区分 原因別	焼損面積			損害額(千円)						
	建物(㎡)		林野 (a)	建物			林野	車両	その他	合計
	面積	表面積		合計	建物	収容物				
たばこ	122			1,918	1,916	2				1,918
たき火・草焼き										
コンロ	5			771	770	1				771
火遊び										
焼却炉										
ストーブ										
電気機器等配線										
排気管								667		667
放火・放火の疑い										
上記以外又は不明	233	24		3,295	2,959	336		405	131	3,831
合計	360	24		5,984	5,645	339		1,072	131	7,187

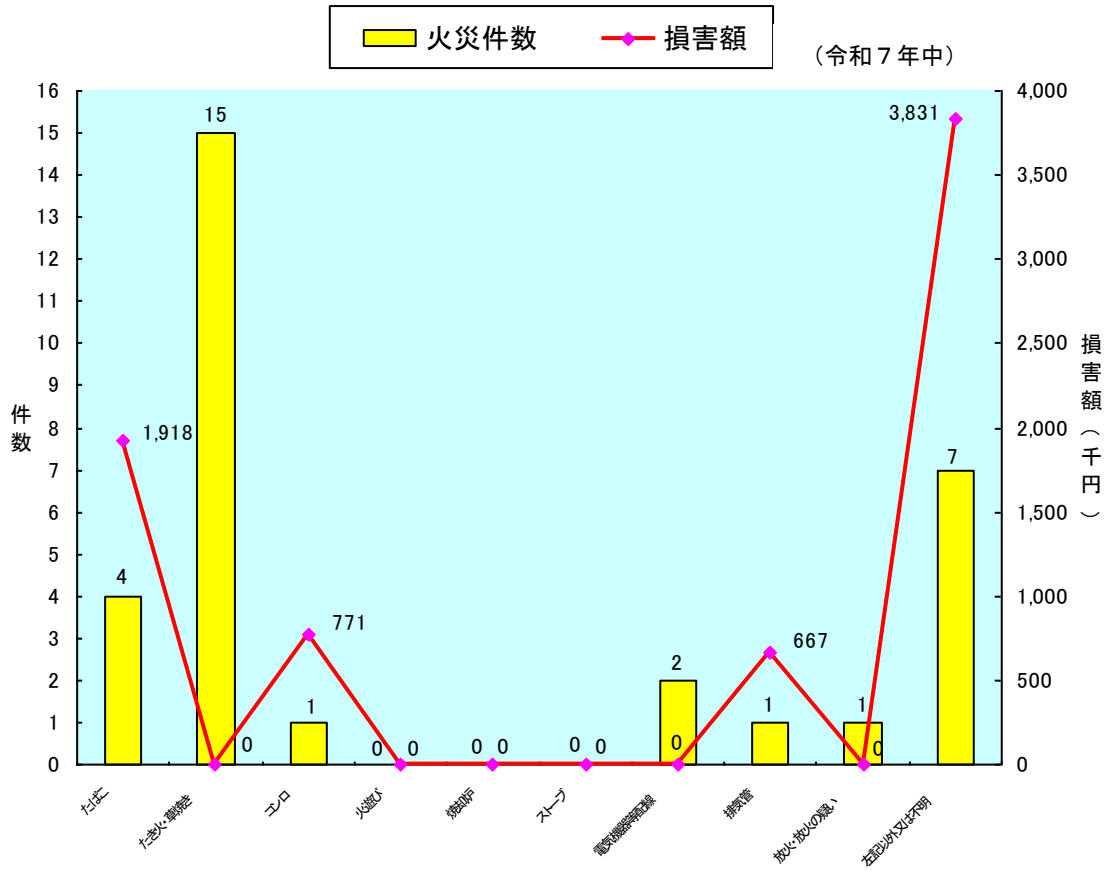
過去 10 年間の火災件数と損害額



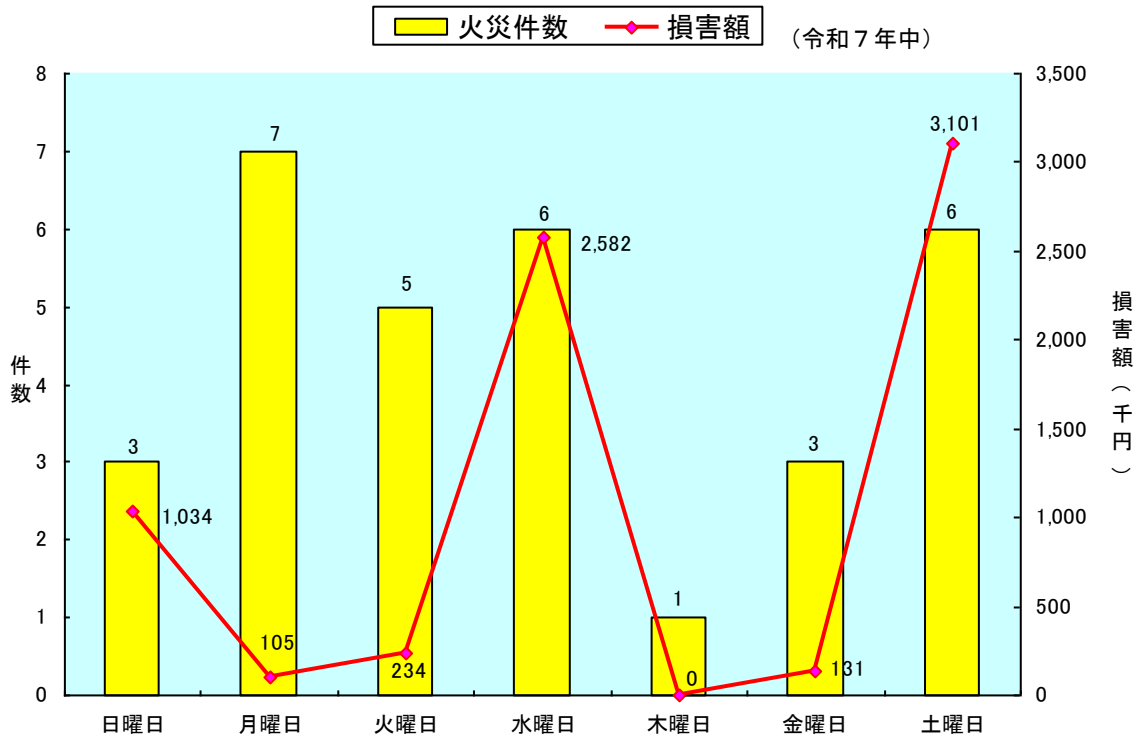
月別の火災件数と損害額



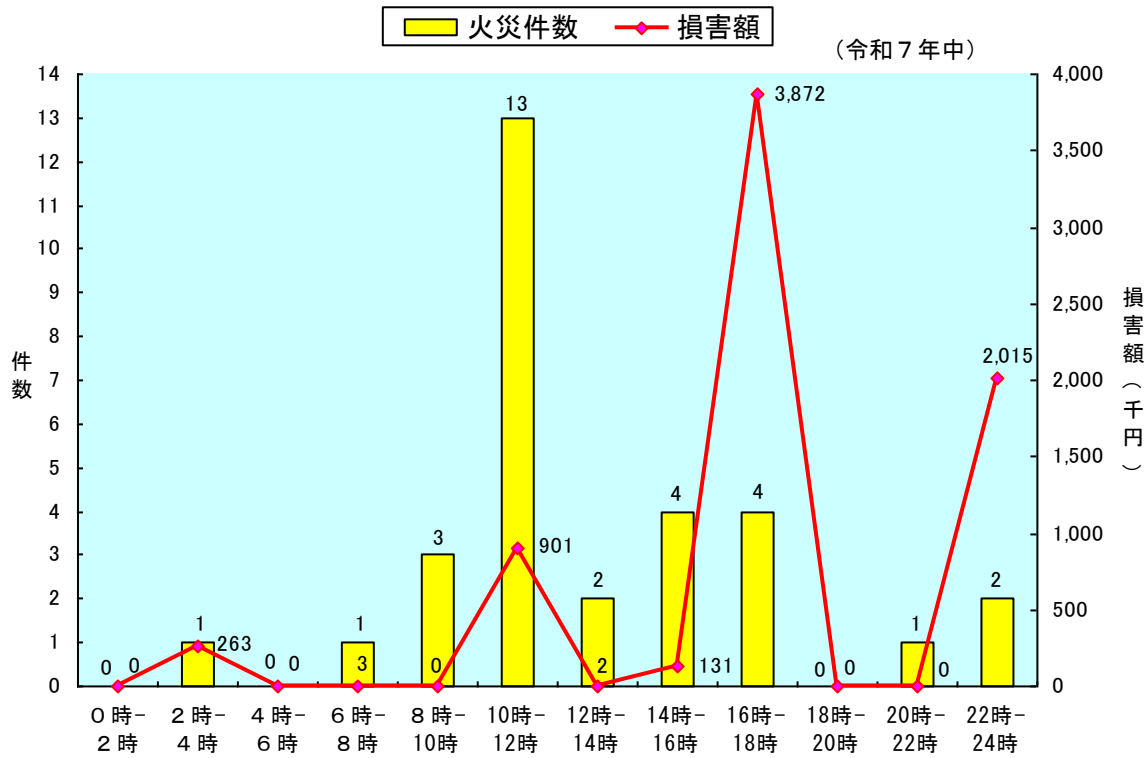
原因別の火災件数と損害額



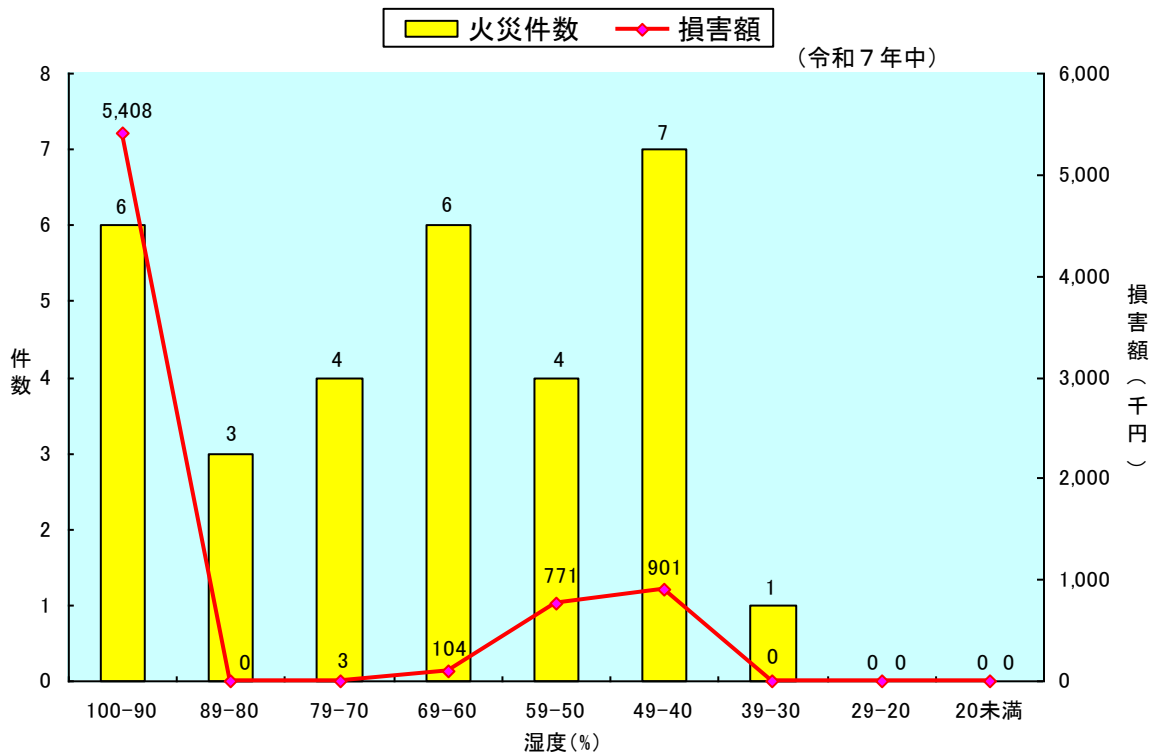
曜日別の火災件数と損害額



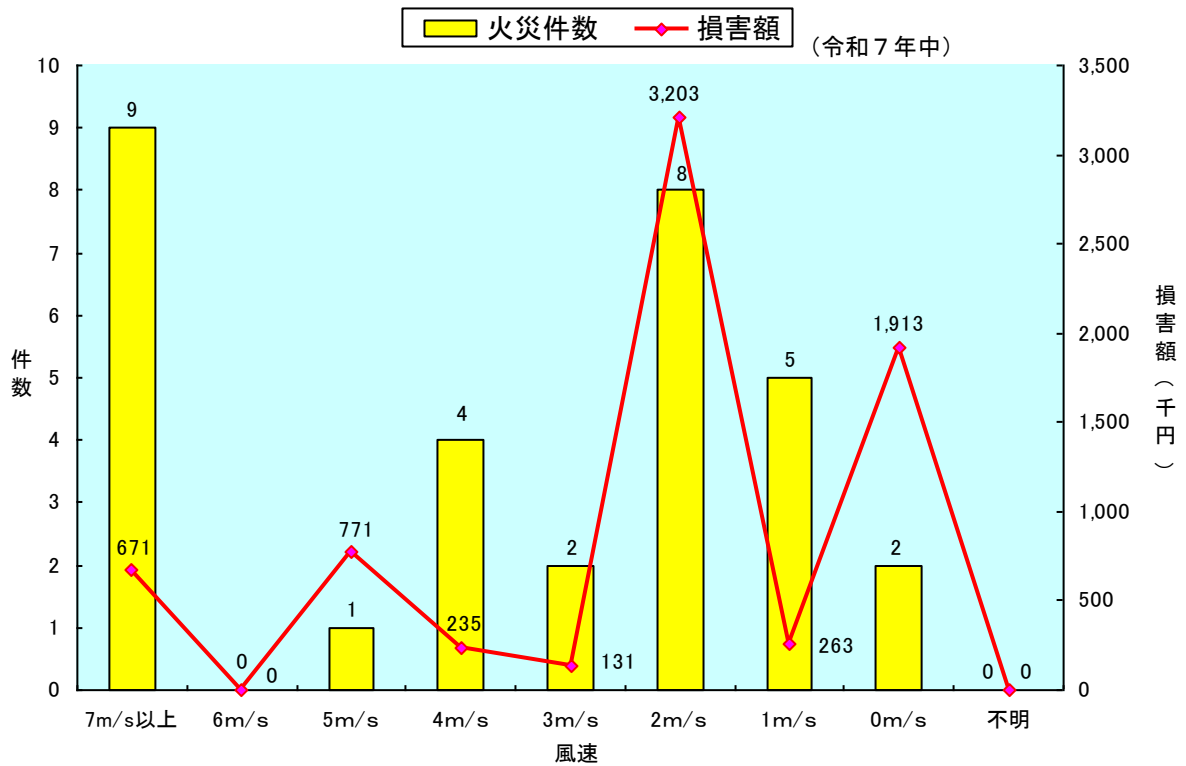
時間別の火災件数と損害額



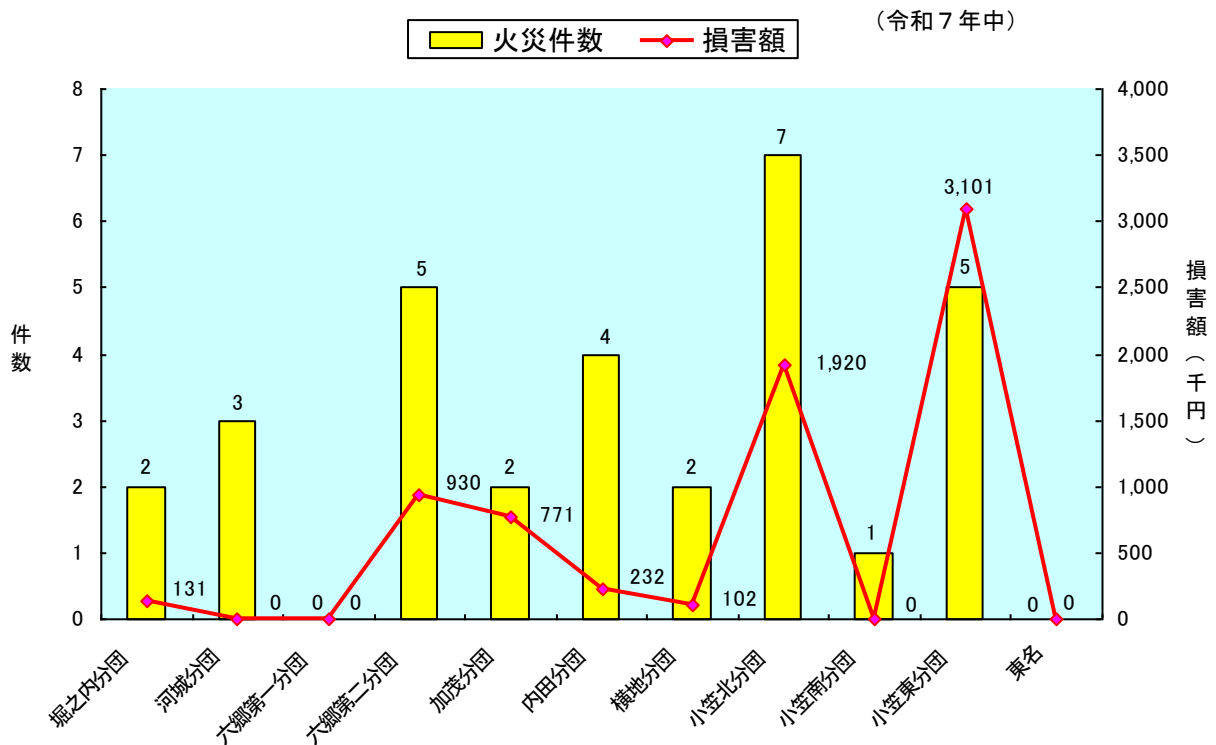
湿度別の火災件数と損害額



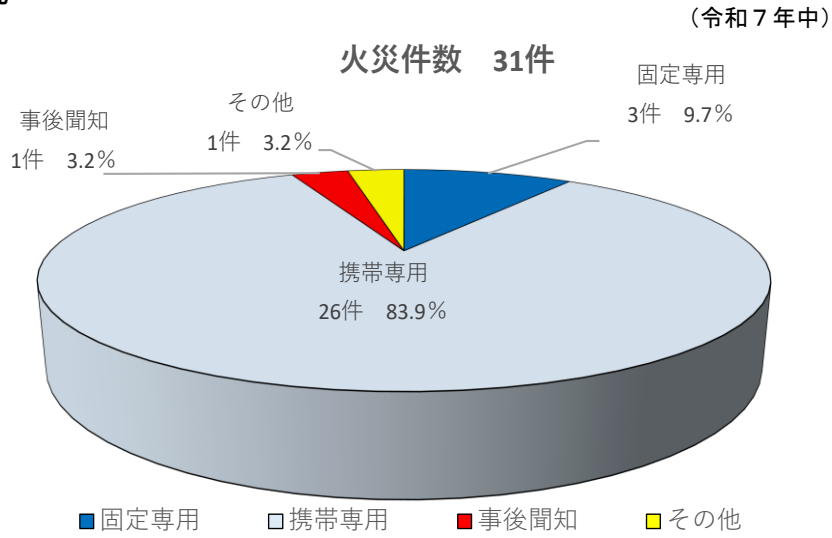
風速別の火災件数と損害額



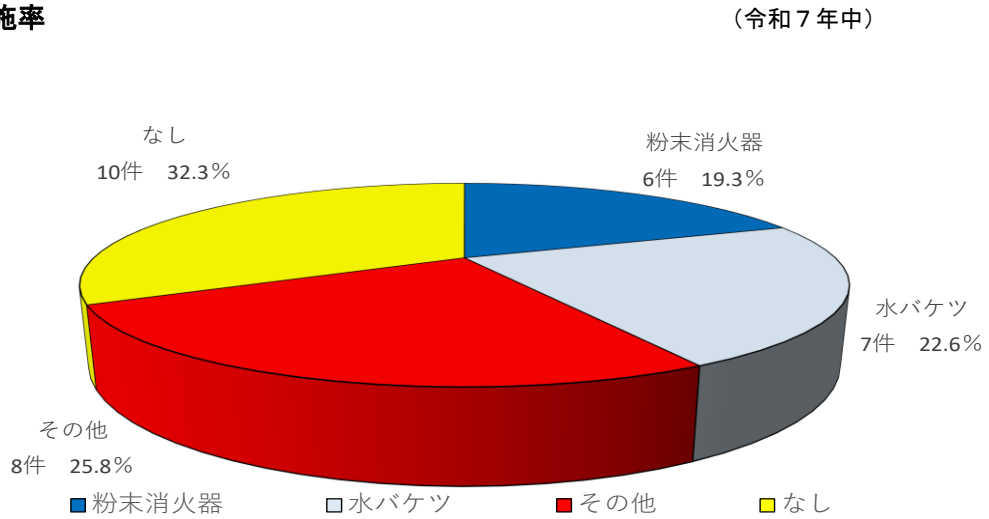
分団別の火災件数と損害額



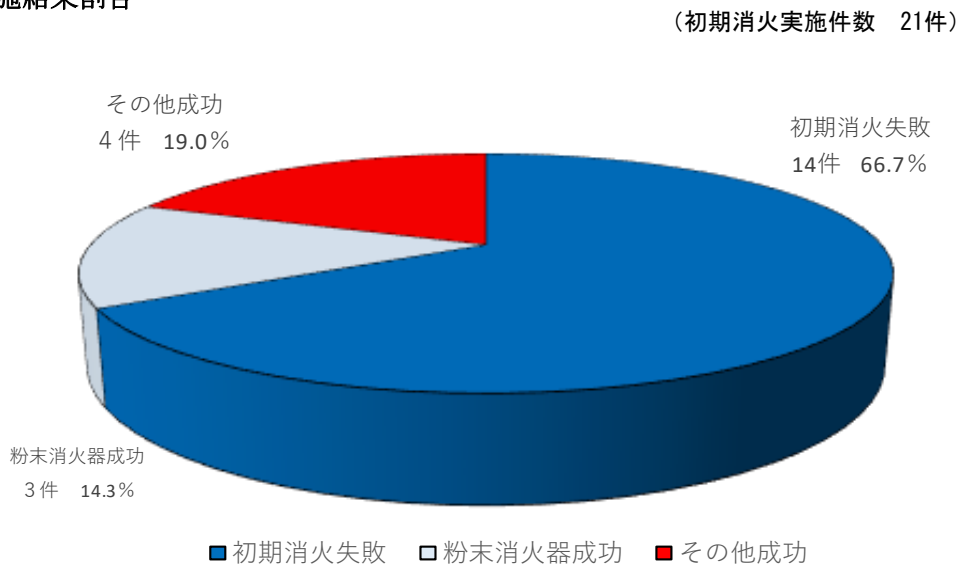
火災覚知別状況



初期消火の状況 初期消火実施率

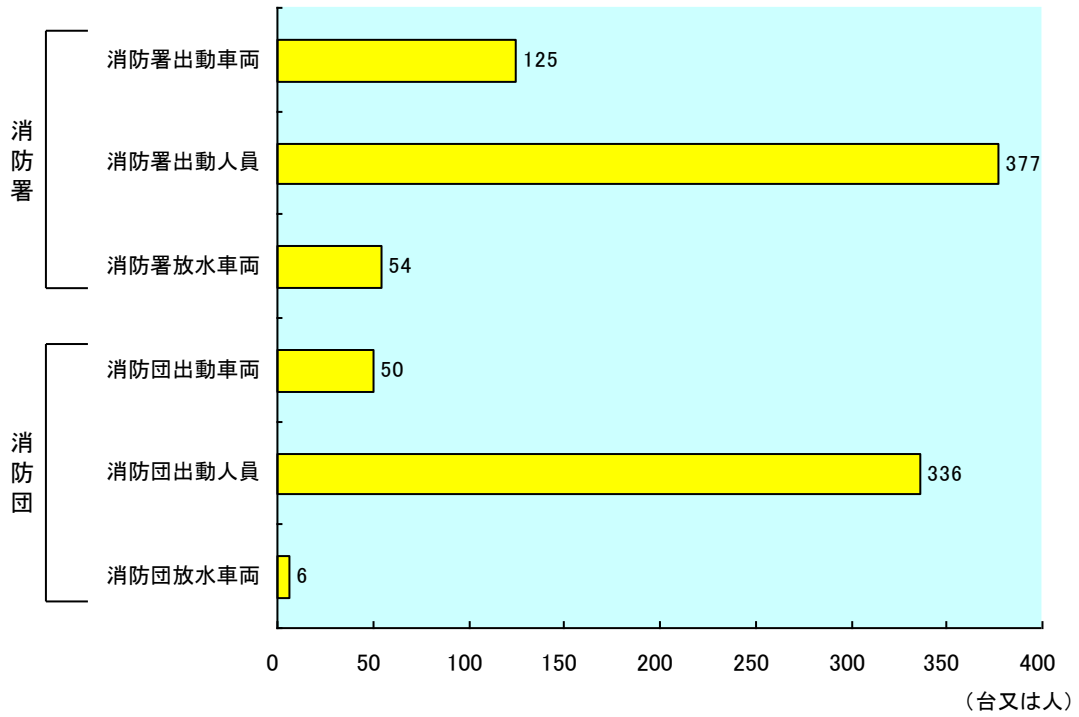


初期消火実施結果割合

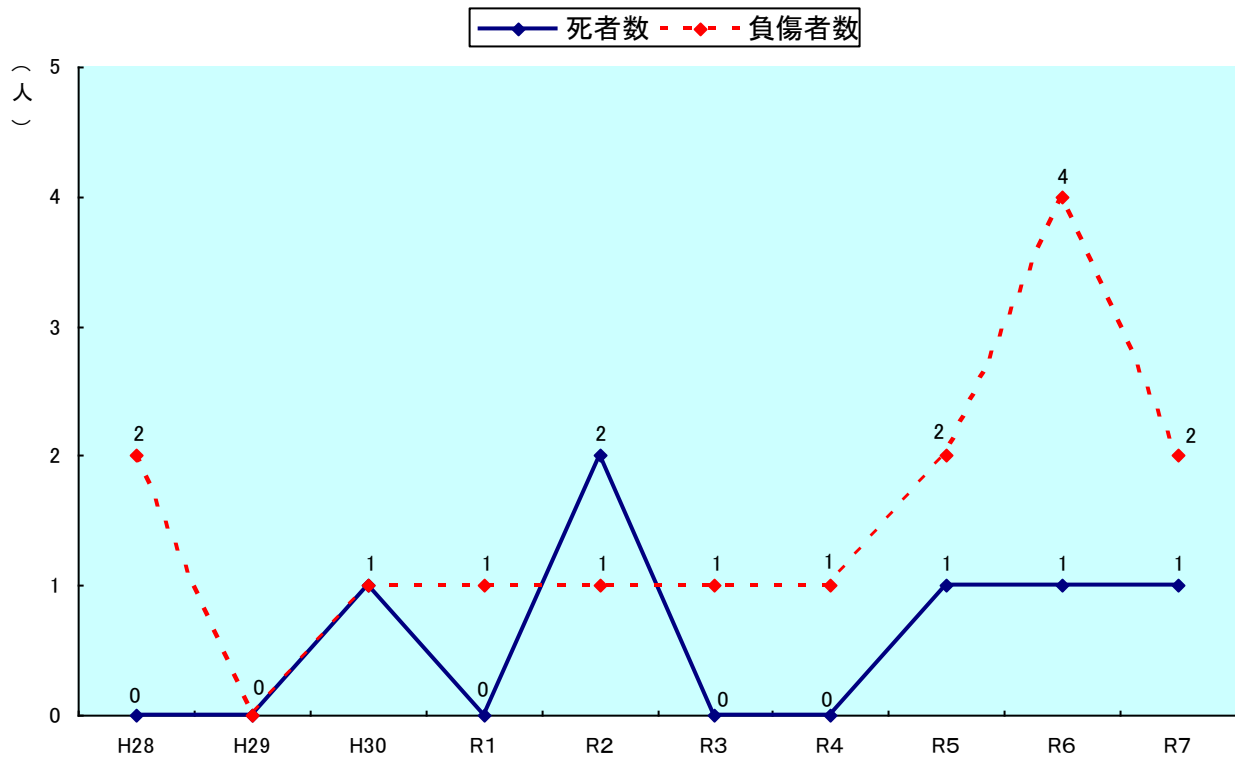


火災出動人員等

(令和7年中)



過去10年間の死傷者発生状況



全国統一標語

第1回	(昭和41年度)	火の始末 人にたのむな まかせるな
第2回	(昭和42年度)	さあねよう アッそのまえに 火の点検
第3回	(昭和43年度)	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない
第4回	(昭和44年度)	今捨てた タバコの温度が 700度
第5回	(昭和45年度)	あぶない! 消し忘れ 切り忘れ
第6回	(昭和46年度)	火を使う人ならできる 火の始末
第7回	(昭和47年度)	慣れた火に 新たな注意
第8回	(昭和48年度)	隣にも 声かけあって よい防火
第9回	(昭和49年度)	生活の 一部にしよう 火の点検
第10回	(昭和50年度)	幸せを 明日につなぐ 火の始末
第11回	(昭和51年度)	火災は人災 防ぐはあなた!
第12回	(昭和52年度)	使う火を 消すまで離すな 目と心
第13回	(昭和53年度)	それぞれの 持場で生かせ 火の用心
第14回	(昭和54年度)	これくらいと 思う油断が 火が狙う
第15回	(昭和55年度)	あなたです 火事を出すのも 防ぐのも
第16回	(昭和56年度)	毎日が 防火デーです ぼくの家
第17回	(昭和57年度)	火の用心 心で用心 目で用心
第18回	(昭和58年度)	点検は 防火のはじまり しめくくり
第19回	(昭和59年度)	“あとで”より “いま”が大切 火の始末
第20回	(昭和60年度)	怖いのは「消したつもり」と「消えたはず」
第21回	(昭和61年度)	防火の大役 あなたが主役
第22回	(昭和62年度)	消えたかな! 気になるあの火 もう一度
第23回	(昭和63年度)	その火 その時 すぐ始末!
第24回	(平成元年度)	おとなりに あげる安心 火の始末
第25回	(平成2年度)	まず消そう 火の鈍感 無関心
第26回	(平成3年度)	毎日が 火の元警戒 発令中
第27回	(平成4年度)	点検を 重ねて築く 火災ゼロ
第28回	(平成5年度)	防火の輪 つなげて広げて なくす火事
第29回	(平成6年度)	安心の 暮らしの中心 火の用心
第30回	(平成7年度)	災害に 備えて日頃の 火の用心
第31回	(平成8年度)	便利さに 慣れて忘れる 火のこわさ
第32回	(平成9年度)	つけた火は ちゃんと消すまで あなたの火
第33回	(平成10年度)	気をつけて はじめはすべて 小さな火
第34回	(平成11年度)	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
第35回	(平成12年度)	火をつけた あなたの責任 最後まで
第36回	(平成13年度)	たしかめて。火を消してから 次のこと
第37回	(平成14年度)	消す心 置いてください ひのそばに
第38回	(平成15年度)	その油断 火から炎へ 災いへ
第39回	(平成16年度)	火を消した? いつも心に きいてみて
第40回	(平成17年度)	あなたです ひのある暮らしの 見はり役
第41回	(平成18年度)	消さないで あなたの心の 注意の火
第42回	(平成19年度)	火は見てる あなたが離れる その時を
第43回	(平成20年度)	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
第44回	(平成21年度)	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子

第45回	(平成22年度)	「消したかな」 あなたを守る 合言葉
第46回	(平成23年度)	消したはず 決めつけないで もう一度
第47回	(平成24年度)	消すまでは 出ない行かない 離れない
第48回	(平成25年度)	消すまでは 心の警報 ONのまま
第49回	(平成26年度)	もういいかい 火を消すまでは まあだだよ
第50回	(平成27年度)	無防備な 心に火災が かくれんぼ
第51回	(平成28年度)	消しましょう その火その時 その場所で
第52回	(平成29年度)	火の用心 ことばを形に 習慣に
第53回	(平成30年度)	わすれてない? サイフにスマホに 火の確認
第54回	(令和元年度)	ひとつずつ いいね!で確認 火の用心
第55回	(令和2年度)	その火事を 防ぐあなたに 金メダル
第56回	(令和3年度)	おうち時間 家族で点検 火の始末
第57回	(令和4年度)	お出かけは マスク戸締り 火の用心
第58回	(令和5年度)	火を消して 不安を消して つなぐ未来
第59回	(令和6年度)	守りたい 未来があるから 火の用心
第60回	(令和7年度)	急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし
第61回	(令和8年度)	火の確認 いい日を支える いい習慣

救急・救助関係

	目	次
令和7年中の救急状況	-----	- 44 -
救急出動状況	-----	- 45 -
1 地区別出動状況	-----	- 45 -
2 月別救急出動状況	-----	- 46 -
3 曜日別救急出動状況	-----	- 47 -
4 覚知別救急出動状況	-----	- 47 -
5 時間帯別救急出動状況	-----	- 48 -
6 発生場所別搬送状況	-----	- 48 -
7 現場到着所要時間別出動状況	-----	- 49 -
8 病院収容所要時間別搬送状況	-----	- 49 -
9 年齢別搬送状況	-----	- 50 -
10 程度別搬送状況	-----	- 51 -
11 救急隊員が行なった救急処置状況	-----	- 51 -
12 病院別搬送状況	-----	- 52 -
13 診療科目別搬送状況	-----	- 52 -
東名高速道路の救急状況	-----	- 53 -
救急講習会実施状況	-----	- 53 -
救助出動状況	-----	- 54 -
1 事故種別出動人員・活動人員	-----	- 54 -
2 事故種別出動車両等台数	-----	- 55 -
3 発生場所別出動件数	-----	- 55 -
4 発生場所別救助人員	-----	- 56 -

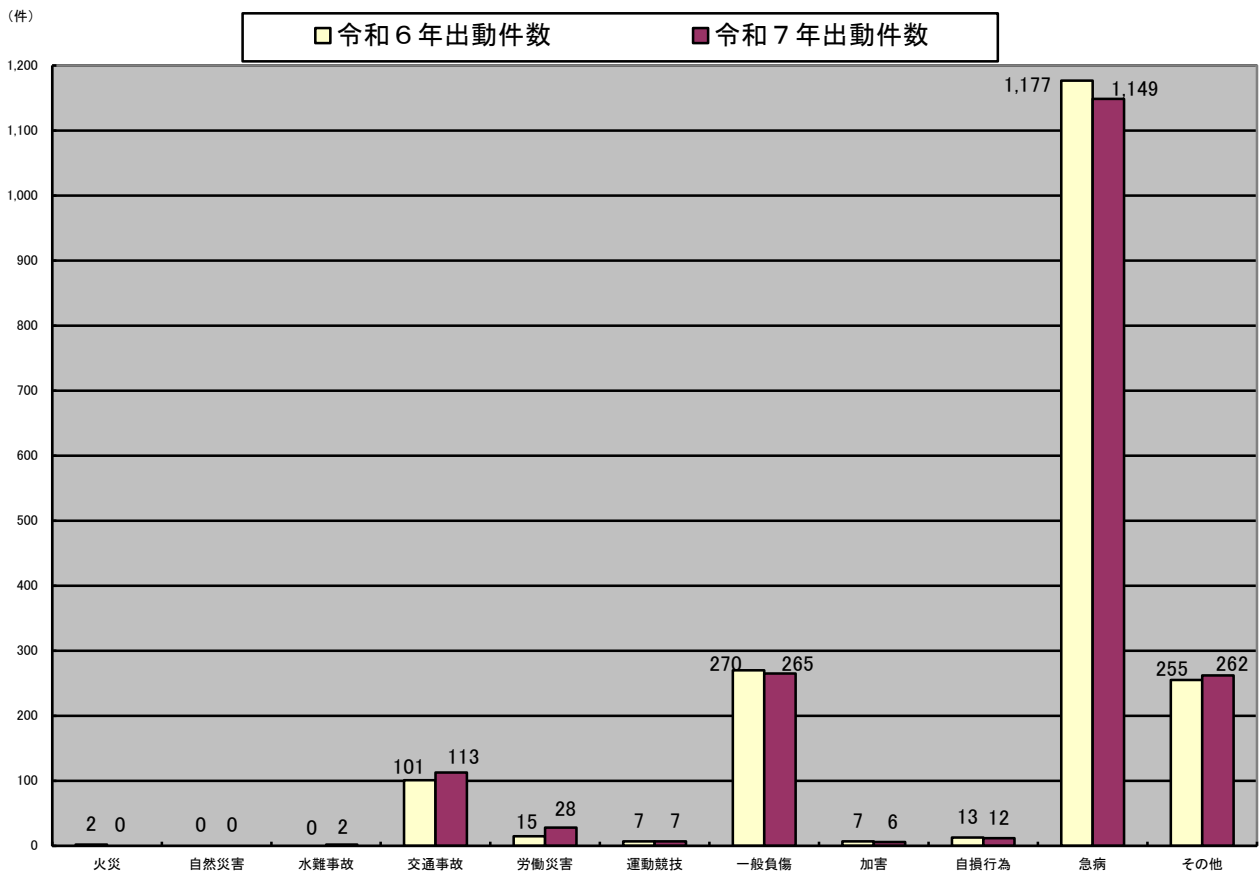
令和7年中の救急状況

令和7年中の救急活動状況は、出動件数が1,844件、搬送人員は1,713人で、昨年より出動件数3件、搬送人員43人の減少となりました。

出動件数は1日平均約5件で、管内人口1万人当たり約395件となり、救急車の利用状況では、約25人に1人が利用したことになります。

事故種別ごとに前年比較すると、増加したのは、水難事故2件、交通事故12件、労働災害13件、その他（転院搬送等）7件で、減少したのは、火災2件、一般負傷5件、加害1件、自損行為1件、急病28件となっています。

種別 年別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
令和7年出動件数			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	1,844
令和7年搬送人員				102	27	7	249	4	8	1,063	253	1,713
令和6年出動件数	2			101	15	7	270	7	13	1,177	255	1,847
令和6年搬送人員	2			94	15	7	255	7	9	1,116	251	1,756



救急出動状況

1 地区別出動状況

(令和7年中)(件)

地区 \ 種別	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
西方				14	2	1	16	1		80	1	115
町部				3	3		26	1	1	105	3	142
加茂				18	4		35	1	2	157	46	263
内田				6	1		12			68	1	88
横地				1	2	1	11	1		56	152	224
六郷				22	2	2	46		3	222	11	308
河城				14	4	1	32		1	103		155
平川				9	1	1	34		3	127	4	179
嶺田				6	3		15		2	53		79
小笠南				10		1	15	1		64		91
小笠東			2	9	6		23	1		113	44	198
東名高速道路				1						1		2
管轄外												
合計			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	1,844

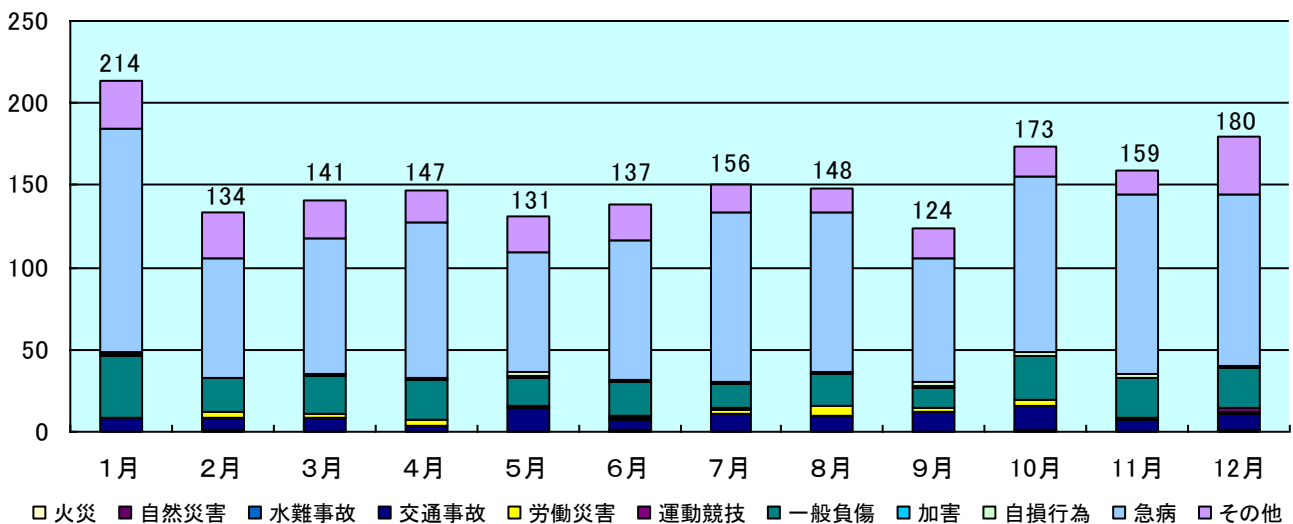
2 月別救急出動状況

(令和7年中)(件)

月別	種別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	うち不搬送
1月	出動件数	214				8	1		37	1	1	137	29	14
	搬送件数	200				8	1		34	1	1	126	29	
2月	出動件数	134			1	7	4		21			73	28	8
	搬送件数	126				6	3		21			69	27	
3月	出動件数	141				9	2		23		1	83	23	7
	搬送件数	134				6	2		22		1	80	23	
4月	出動件数	147				4	3		25	1		94	20	5
	搬送件数	142				4	3		25	1		89	20	
5月	出動件数	131				14	1	1	17	1	2	73	22	8
	搬送件数	124				14	1	1	16		2	69	21	
6月	出動件数	137				6	2	1	20	1		86	21	6
	搬送件数	131				5	2	1	20	1		83	19	
7月	出動件数	156				11	2	1	15		1	108	18	6
	搬送件数	150				10	2	1	15		1	103	18	
8月	出動件数	148				10	6		19	1		98	14	14
	搬送件数	134				8	6		17			90	13	
9月	出動件数	124				12	2	1	12	1	2	76	18	10
	搬送件数	114				11	2	1	10	1	1	70	18	
10月	出動件数	173				15	3		27		2	107	19	14
	搬送件数	160				15	3		23		1	100	18	
11月	出動件数	159				7	1	1	24		2	109	15	21
	搬送件数	138				6	1	1	22		1	93	14	
12月	出動件数	180			1	10	1	2	25		1	105	35	20
	搬送件数	160				9	1	2	24			91	33	
合計	出動件数	1,844			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	133
	搬送件数	1,713				102	27	7	249	4	8	1,063	253	

※搬送件数の合計には、「不搬送」は含んでいません。

月別救急出動推移



3 曜日別救急出動状況

(令和7年中)(件)

種別 曜日	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
月曜日			1	13	2		36	1		165	49	267
火曜日				16	5	1	34		2	143	38	239
水曜日				18	8		26		2	179	51	284
木曜日				20	9		41	1		160	35	266
金曜日				18	2	2	43		4	177	52	298
土曜日				13	1	2	50	1	1	157	19	244
日曜日			1	15	1	2	35	3	3	168	18	246
合計			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	1,844

4 覚知別救急出動状況

(令和7年中)(件)

種別 覚知区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
専用電話			2	91	28	7	260	6	11	1,141	249	1,795
加入電話							4			3		7
警察電話				6			1		1	3		11
駆け付け										1		1
自己覚知												
東名管理局												
消防救急無線				7						1		8
病院専用											13	13
その他				9								9
合計			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	1,844

5 時間帯別救急出動状況

(令和7年中)(件)

種別 時間帯	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0時～2時							7	1	1	46	4	59
2時～4時				1	1		2		1	40	5	50
4時～6時				3			14	1	1	53	6	78
6時～8時				12			22			106	5	145
8時～10時				16	4		37		1	145	28	231
10時～12時			1	13	7	3	36		1	140	49	250
12時～14時				11	5	2	25		3	124	46	216
14時～16時			1	14	6		32	1	1	101	34	190
16時～18時				18	4	1	27			101	41	192
18時～20時				14		1	23	2	1	122	14	177
20時～22時				7	1		27			95	21	151
22時～24時				4			13	1	2	76	9	105
合 計			2	113	28	7	265	6	12	1,149	262	1,844

6 発生場所別搬送状況

(令和7年中)(人)

発生場所 種別	住 宅	公衆出入場所	仕事場	道 路	その他	合 計
急 病	863	134	35	24	7	1,063
交通事故	5	5		91	1	102
一般負傷	174	40	5	23	7	249
そ の 他	9	262	25	2	1	299
合 計	1,051	441	65	140	16	1,713

7 現場到着所要時間別出動状況

(令和7年中)(件)

所要時間 種 別	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	合 計	平均 所要時間
急 病	1	4	481	650	13	1,149	10.4分
交通事故			36	74	3	113	11.5分
一般負傷	1		112	150	2	265	10.3分
そ の 他	3	10	251	51	2	317	7.9分
合 計	5	14	880	925	20	1,844	10.0分
割合 (%)	0.3	0.8	47.7	50.2	1.0	100	

8 病院収容所要時間別搬送状況

(令和7年中)(人)

所要時間 種 別	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上	合 計	平均 所要時間
急 病			117	874	72	1,063	40.9分
交通事故			4	76	22	102	48.8分
一般負傷			25	205	19	249	41.8分
そ の 他			34	224	41	299	44.6分
合 計			180	1,379	154	1,713	42.1分
割合 (%)			10.5	80.5	9.0	100	

9 年齢別搬送状況

(令和7年中)(人)

種 別 年齢・性別		火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
0才～4才	男性							6			26	4	36
	女性							1			17		18
5才～9才	男性							3			10	1	14
	女性							1			9	1	11
10才～19才	男性				9	1	4	1			16	5	36
	女性				5		1	2		1	17	3	29
20才～29才	男性				11	1		1	1		19	2	35
	女性				5			3		3	19	14	44
30才～39才	男性				4	4	1	4	1		27	2	43
	女性				5			1		2	16	6	30
40才～49才	男性				8	4		4			28	7	51
	女性				6			3		1	31	2	43
50才～59才	男性				8	8		13	1		48	10	88
	女性				9	1		8			38	9	65
60才～69才	男性				5	1		22			85	28	141
	女性				2	1	1	6			34	18	62
70才～79才	男性				9	4		25			127	33	198
	女性				4	1		22			94	18	139
80才以上	男性				6	1		47			206	47	307
	女性				6			76	1	1	196	43	323
合 計	男性				60	24	5	126	3		592	139	949
	女性				42	3	2	123	1	8	471	114	764
総 合 計					102	27	7	249	4	8	1,063	253	1,713

10 程度別搬送状況

(令和7年中)(人)

種別		火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	割合(%)
死亡	男性										5		5	0.3
	女性										1		1	0.1
重傷	男性							4			30		34	2.0
	女性				1						25	1	27	1.6
中等症	男性				18	11	1	43	1		237	138	449	26.2
	女性				7		1	69	1	4	195	112	389	22.7
軽症	男性				43	13	4	79	2		320	1	462	26.9
	女性				33	3	1	54		4	250	1	346	20.2
合計	男性				61	24	5	126	3		592	139	950	55.5
	女性				41	3	2	123	1	8	471	114	763	44.5
	計				102	27	7	249	4	8	1,063	253	1,713	100.0

11 救急隊員が行なった救急処置状況

(令和7年中)(回)

種別	急病	交通	一般	その他	合計
心肺蘇生	38		1		39
気道確保(特定行為除く)	35		2		37
人工呼吸	6				6
酸素投与	150	7	13	61	231
止血	5	7	29	7	48
固定	7	55	38	11	111
被服	2	13	35	7	57
保温	623	54	149	188	1,014
聴診器による聴診	286	46	31	36	399
血圧測定	1,022	102	245	297	1,666
血中酸素飽和度測定	1,020	102	247	296	1,665
心電図測定	1,032	100	244	293	1,669
在宅療法継続	3				3
食道閉鎖式エアウェイ	13				13
気管挿管	1				1
静脈路確保	26		3	1	30
薬剤投与	11				11
除細動	2				2
その他の処置	8		5		13
合計	4,290	486	1,042	1,197	7,015

12 病院別搬送状況

(令和7年中)(人)

種別 医療機関	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
菊川市立総合病院				72	21	5	209	3	5	819	48	1,182
中東遠総合医療センター				23	2	1	26	1	3	172	88	316
市立御前崎総合病院				3	1	1	6			13	4	28
総合病院聖隷浜松病院										9	10	19
浜松医科大学医学部附属病院										4	21	25
磐田市立総合病院				1	1		4			19	19	44
総合病院聖隷三方原病院											6	6
島田市立総合医療センター				2	2		2			16	38	60
その他の医療機関				1			2			10	18	31
ドクターヘリ搬送										1	1	2
合計				102	27	7	249	4	8	1,063	253	1,713

13 診療科目別搬送状況

(令和7年中)(人)

種別 診療科目	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計
内科				4	5		11			624	68	712
消化器科							1			84	27	112
循環器科										79	41	120
小児科				1			11		1	62	6	81
外科				23	7	2	58	2		9	6	107
整形外科				70	12	4	158	2		40	14	300
脳外科				2		1	4			75	57	139
その他				2	3		6		7	90	34	142
合計				102	27	7	249	4	8	1,063	253	1,713

救助出動状況

令和7年中における救助出動状況は、出動件数が18件、活動件数が9件、救助人員は10人でした。前年と比較すると、出動件数が4件減少し、活動件数2件及び救助人員が1人減少しています。

救助出動状況

(令和7年中)

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
出動件数(件)			12	2			3			1	18
活動件数(件)			5	2			2				9
救助人員(人)			6	2			2				10

※令和6年 救助出動状況

出動件数(件)			10		1		4			7	22
活動件数(件)			4				3			4	11
救助人員(人)			4				3			4	11

1 事故種別出動人員・活動人員

(令和7年中)

種別 区分	火災		交通事故	水難事故	風水害等 自然災害	機械による 事故	建物等による 事故	ガス及び 酸欠事故	破裂事故	その他の 事故	合計
	建物	建物以外									
出動人員	救助隊員		44	8			11			4	67
	消防隊員		7	4							11
	救急隊員		48	6			9			3	66
	消防団員										
	合計			99	18			20			7
活動人員	救助隊員		18	8			8				34
	消防隊員			2							2
	救急隊員										
	消防団員										
	合計			18	10			8			

2 事故種別出動車両等台数

(令和7年中)

種 別 車両別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
出 動 車 両 等	救助工作車			11	2			3			1	17
	ポンプ車 タンク車			1								1
	化学車			1								1
	指揮車 司令車			3	1							4
	救急自動車			16	2			3			1	22
	その他				2							2
	消防団車両											
合 計				32	7			6			2	47

3 発生場所別出動件数

(令和7年中)

種 別 場所別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居							3				3
	その他											
屋 外	高速自動車 国 道			1								1
	その他の 道 路			11								11
	内水面				2							2
	外水面											
	山 岳											
	その他の 屋 外											1
地 下												
そ の 他												
合 計				12	2			3			1	18

4 発生場所別救助人員

(令和7年中)

種 別 場所別		火 災		交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害	機 械 による 事 故	建 物 等 による 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居							2				2
	そ の 他											
屋 外	高 速 自 動 車 国 道											
	そ の 他 の 道 路			6								6
	内 水 面				2							2
	外 水 面											
	山 岳											
	そ の 他 の 屋 外											
地 下												
そ の 他												
合 計				6	2			2				10

	目	次
通信関係	-----	- 58 -
1	無線機器詳細	----- - 58 -
2	菊川市消防本部通信系統図	----- - 59 -
消防用車両配置状況	-----	- 60 -
機械器具の保有状況	-----	- 61 -
1	主要消防機具器材の状況	----- - 61 -
2	主要原子力資機材の状況	----- - 61 -
3	救助隊資機材の状況	----- - 62 -
4	高度救命処置用資機材等保有状況	----- - 62 -
水利・気象統計	-----	- 63 -
消防水利現有数	-----	- 63 -
月別気温状況	-----	- 64 -
月別平均風速・降雨量状況	-----	- 64 -
月別湿度状況	-----	- 65 -
過去5年間の気象状況	-----	- 65 -

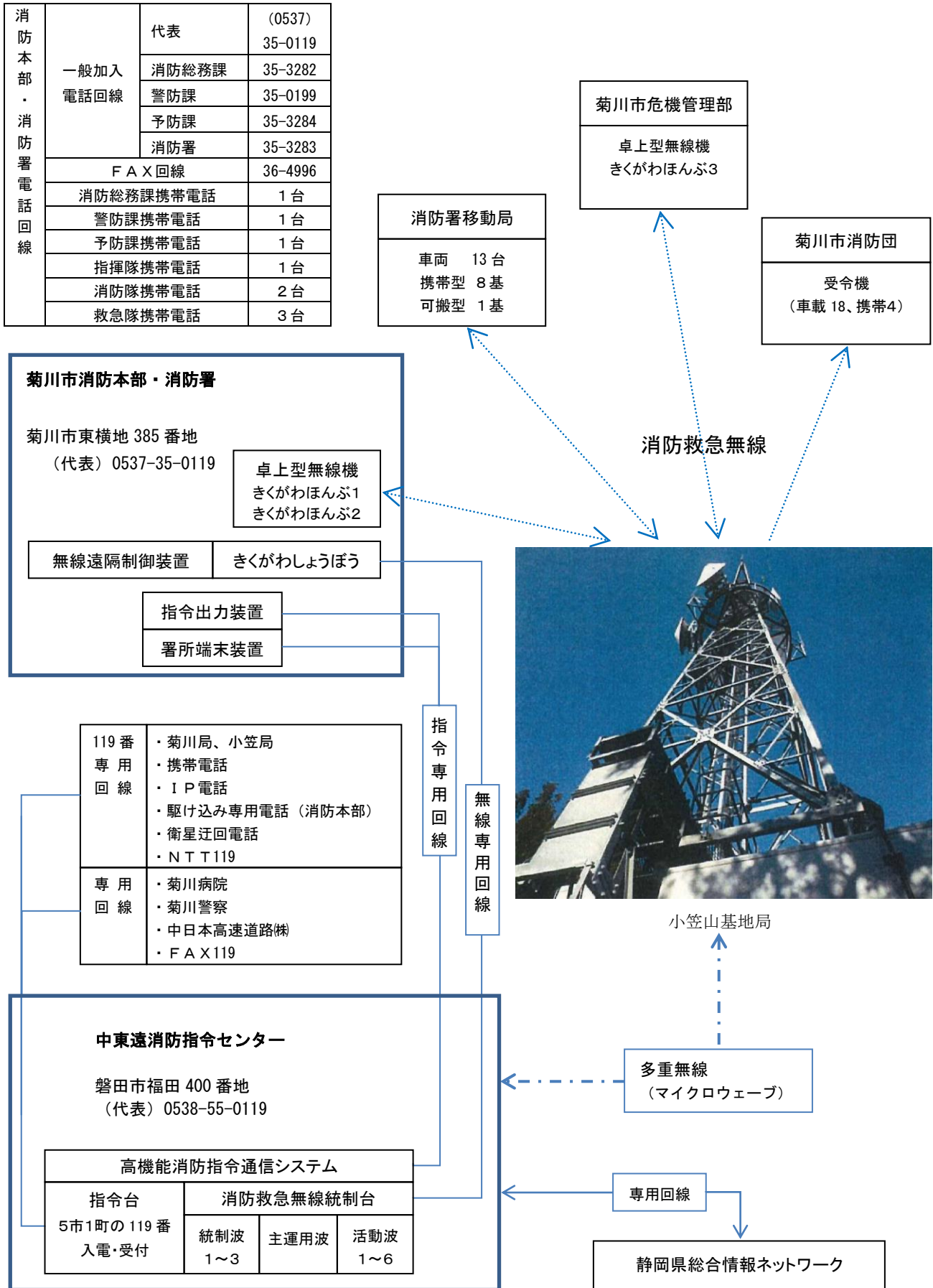
通信関係

1 無線機器詳細

(令和8年4月1日 現在)

所 属	局別・車別	呼称名称	空中線出力	製造業者	
本 部	基地局（遠隔制御装置）	きくがわしょうぼう	5W	NEC	
	司令車	きくがわ51	10W	富士通ゼネラル	
	団本部指揮車	きくがわだんほんぶ1	10W	〃	
	連絡車	きくがわ72	10W	〃	
	卓上型	きくがわほんぶ1	10W	〃	
消防署		きくがわほんぶ2	10W	〃	
	指揮車	きくがわしき1	10W	〃	
	消防車	きくがわポンプ1	10W	〃	
	大型水槽車	きくがわすいそう1	10W	〃	
	消防車	きくがわタンク1	10W	〃	
	化学車	きくがわかがく1	10W	〃	
	救助工作車	きくがわきゆうじょ1	10W	〃	
	資機材搬送車	きくがわ71	10W	〃	
	連絡車	きくがわ73	10W	〃	
	救急車		きゆうきゆうきくがわ1	10W	〃
			きゆうきゆうきくがわ2	10W	〃
			きゆうきゆうきくがわ3	10W	〃
	可搬型	きくがわ100	10W	〃	
	携帯型		きくがわ101	5W	〃
			きくがわ102	5W	〃
			きくがわ103	5W	〃
			きくがわ104	5W	〃
			きくがわ105	5W	〃
			きくがわ106	5W	〃
			きくがわ107	5W	〃
		きくがわ108	5W	〃	
市役所	菊川市危機管理課	きくがわほんぶ3	10W	〃	
消防署	携帯型（署活動波）	きくがわ201	1W	〃	
		きくがわ202	1W	〃	
		きくがわ211	1W	〃	
		きくがわ212	1W	〃	
		きくがわ213	1W	〃	
		きくがわ214	1W	〃	
		きくがわ215	1W	〃	
		きくがわ216	1W	〃	
		きくがわ217	1W	〃	
		きくがわ218	1W	〃	
		きくがわ219	1W	〃	
		きくがわ220	1W	〃	
		きくがわ221	1W	〃	
		きくがわ222	1W	〃	
		きくがわ223	1W	〃	
		きくがわ231	1W	〃	
		きくがわ232	1W	〃	
		きくがわ301	1W	〃	
		きくがわ302	1W	〃	
		きくがわ303	1W	〃	
		きくがわ304	1W	〃	
		携帯型（防災相互波）	きくがわぼうたい101	5W	〃
			きくがわぼうたい102	5W	〃

2 菊川市消防本部通信系統図



消防用車両配置状況

(令和8年4月1日 現在)

	種 別	車 名	登録番号	年 式	種別・型式等	呼 称
消 防 本 部 ・ 消 防 署	消 防 車	日 野	浜松 800 す 7167	H29	水槽付消防ポンプ自動車 (水量：600L)	菊川ポンプ1
	大 型 水 槽 車	日 野	浜松 800 は 1127	H30	大型水槽付消防ポンプ自動車 (水量：10,000L)	菊川水槽1
	消 防 車	日 野	浜松 800 と 3	H20	水槽付消防ポンプ自動車 (水量：1,500L)	菊川タンク1
	化 学 車	日 野	浜松 830 す 2025	R7	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型 (水量：1,300L、薬液量：500L)	菊川化学1
	救 助 工 作 車	日 野	浜松 830 す 2021	R3	救助工作車Ⅱ型 クレーン・ウインチ(前後) 上昇式照明装置付	菊川救助1
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 す 991	R1	高規格救急自動車	救急菊川1
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 せ 992	R4	高規格救急自動車	救急菊川2
	救 急 車	トヨタ	浜松 830 す 993	H29	高規格救急自動車	救急菊川3
	司 令 車	トヨタ	浜松 800 す 5799	H27	プリウス	菊川51
	指 揮 車	トヨタ	浜松 800 す 6856	H29	ハイエース	菊川指揮1
	資機材搬送車	いすゞ	浜松 830 せ 2024	R6	いすゞトラック 2.0t積	菊川71
	連 絡 車	スズキ	浜松 480 す 8931	H27	エブリィ	菊川72
	連 絡 車	ダイハツ	浜松 880 あ 1019	H28	ハイゼットカーゴ	菊川73
連 絡 車	ニッサン	浜松 502 せ 8565	H26	パネット		

機械器具の保有状況

1 主要消防機具器材の状況

(令和8年4月1日 現在)

品名	計	内車両積載数				倉庫
		ポンプ車	タンク車	化学車	大型水槽車	
空気呼吸器	20	4	4	4	3	5
40mmホース	5	0	2	2	0	1
50mmホース	80	10	12	12	4	42
65mmホース	126	10	15	16	20	65
無反動ノズル	8	1	3	2	2	0
ストレートノズル	2	0	2	0	0	0
ガンタイプノズル	12	2	3	5	2	0
泡ノズル(400型)	3	0	1	2	0	0
消火栓スタンド	4	1	1	1	1	0
ホースカー	2	0	1	1	0	0
泡消火薬剤(20ℓ)	71	2	2	25	0	42
ホースブリッジ	10	2	2	2	4	0
鷹口	8	2	2	2	2	0
ハンマー	3	1	1	0	0	1
斧	8	1	4	2	0	1
バール	32	1	4	1	1	25
エンジンカッター	3	1	1	1	0	0
チェーンソー	5	0	0	0	0	5
発電機	8	1	2	1	0	4
投光器	9	1	1	3	2	2
三連梯子	3	1	1	1	0	0
単梯子	4	1	1	1	1	0

※救助工作車積載資機材は含まない

2 主要原子力資機材の状況

(令和8年4月1日 現在)

品名	計	品名	計
電離箱式サーベイメータ	4	防護服	530
GM管式サーベイメータ	5	ゴーグル	425
シンチレーションサーベイメータ	3	防毒・防塵マスク	896
ポケット線量計	75	エアータンク式	1
R I 防護服	4	除染シャワー式	1

3 救助隊資機材の状況

(令和8年4月1日 現在)

品名		計	品名		計	
一般救助用器具	かぎ付き梯子	1	隊員保護用具	耐電手袋	4	
	三連梯子	1		耐電衣	2	
	ワイヤー梯子	1		耐電ズボン	2	
	空気式救助マット	1		耐電長靴	2	
	救命索発射銃 (レスキューショット)	1		携帯警報器	7	
	縛帯	被災者つり上げベルト		1	墜落制止用器具 (腰ベルト型)	5
		サバイバースリング		1	墜落制止用器具 (フルハーネス型)	8
		ベストスリング		1	化学防護服	5
		エバックハーネス		1	防毒マスク	5
平担架	1	救命胴衣	5			
重量物排除用器具	油圧スプレッター	1	水難救助用器具	救命浮環	2	
	可搬ウィンチ	1		スローバッグ	2	
	救助用支柱器具	1		ライフボール	2	
	マット型空気ジャッキ	1		小型船舶用救命浮環	2	
切断用器具	油圧切断機	1	山岳救助用器具	救命ボート (ハイパロン製)	2	
	エンジンカッター	1		バスケット担架	2	
	チェーンソー	1		スタティックロープ	4	
	鉄線カッター	1		パーティカルストレッチャー	1	
	空気切断機	1		呼吸保護用具	空気呼吸器	4
破壊用器具	携帯用コンクリート破壊器具	1	送排風機	1		
	万能斧 (斧・ハリガン・弁慶)	3	送風機	1		
	ハンマー	1	その他の救助用器具	投光器	1	
検知・測定用器具	放射線測定器 (電子ポケット線量計)	5	携帯投光器	2		
	可燃性ガス測定可能 ガス検知器 有毒ガス測定可能 酸素濃度測定可能	2	携帯拡声器	1		
			応急処置セット	1		
			発電機	1		

4 高度救命処置用資機材等保有状況

(令和8年4月1日 現在)

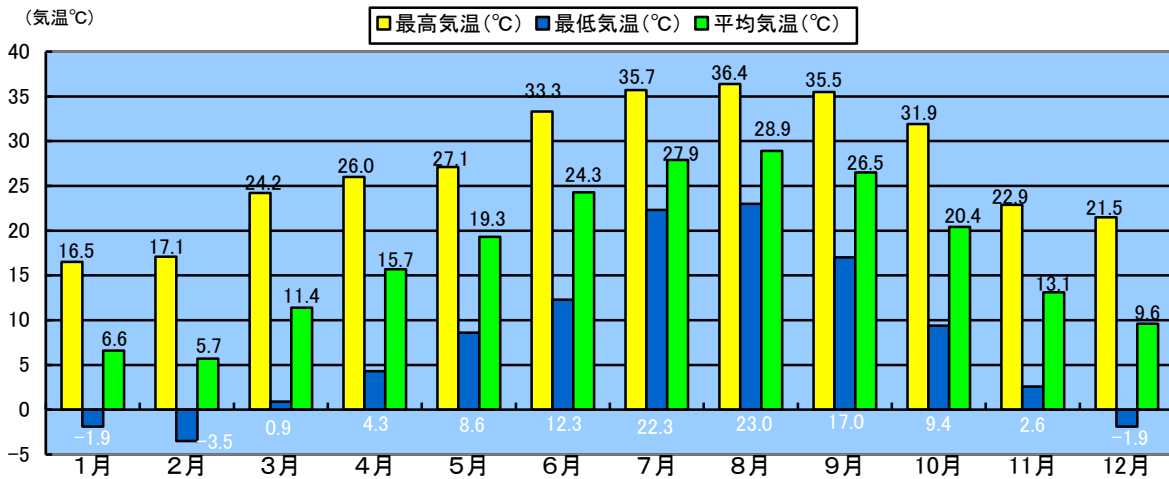
品名	計	品名	計
ビデオ喉頭鏡	3	患者監視装置	3
除細動器	3	高圧蒸気滅菌器	1
血糖測定器	3	オゾンガス除染装置	2
血中酸素飽和度測定器	3	自動式人工呼吸器	3

水利・気象統計
消防水利現有数

(令和8年4月1日 現在)

区 分		地 区		第一方面		第二方面				第三方面			合 計
		堀之内	河城	六郷第一	六郷第二	加茂	内田	横地	小笠北	小笠南	小笠東		
消 火 栓	基 準	地下式	65	47	50	33	69	29	32	38	13	27	403
		地上式	3	1	1					1	1	1	8
	基準外	地下式	17	38	18	23	13	24	15	42	17	32	239
		地上式									3	2	5
	合 計	地下式	82	85	68	56	82	53	47	80	30	59	642
		地上式	3	1	1					1	4	3	13
防 火 水 槽	20 m ³ 未満									21	6	23	50
	20~40 m ³		2	3	1	2	3	1		4	3	3	22
	40~60 m ³		27	42	24	38	26	35	26	57	34	35	344
	うち耐震		23	37	21	32	22	28	20	52	31	33	299
	60~100 m ³			1	1			2		2			6
	うち耐震									1			1
	100 m ³ 以上		1		1		1		1	2	1	2	9
	うち耐震		1		1		1		1	2	1	2	9
	合 計		30	46	27	40	30	38	27	86	44	63	431
うち耐震		24	37	22	32	23	28	21	55	32	35	309	
そ の 他 水 利	プール等		2	1	1	1	2	1	1	2	1	1	13
	池・濠等										2	1	3
	河川・溝等												
	合 計		2	1	1	1	2	1	1	2	3	2	16
総 数			117	133	97	97	114	92	75	169	81	127	1,102

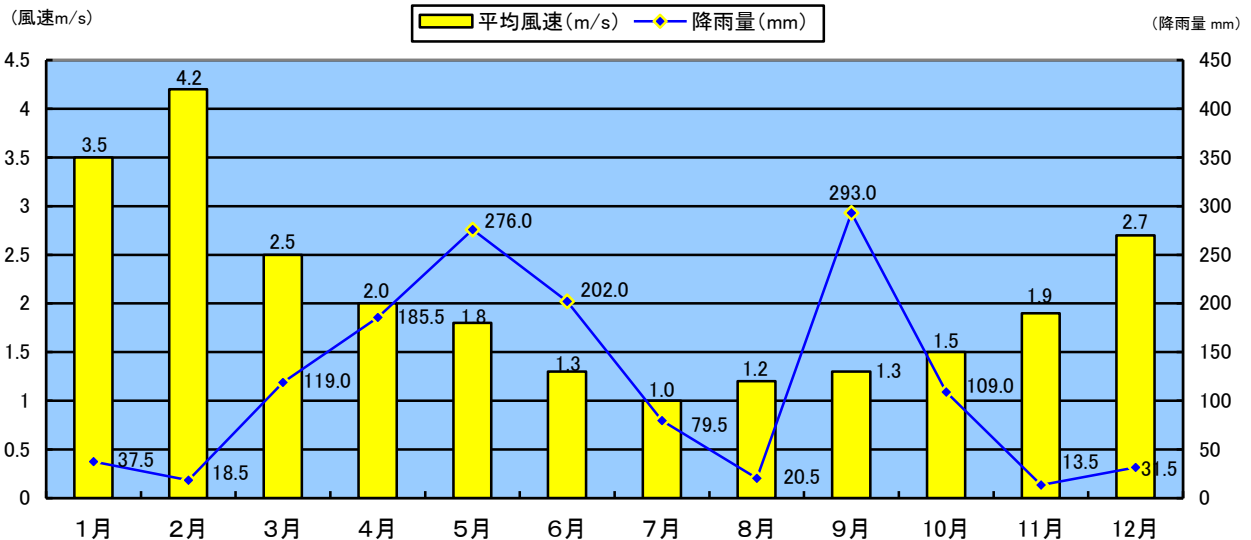
月別気温状况



(令和7年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
最高気温	16.5	17.1	24.2	26.0	27.1	33.3	35.7	36.4	35.5	31.9	22.9	21.5	
最低気温	-1.9	-3.5	0.9	4.3	8.6	12.3	22.3	23.0	17.0	9.4	2.6	-1.9	
平均気温	6.6	5.7	11.4	15.7	19.3	24.3	27.9	28.9	26.5	20.4	13.1	9.6	17.5

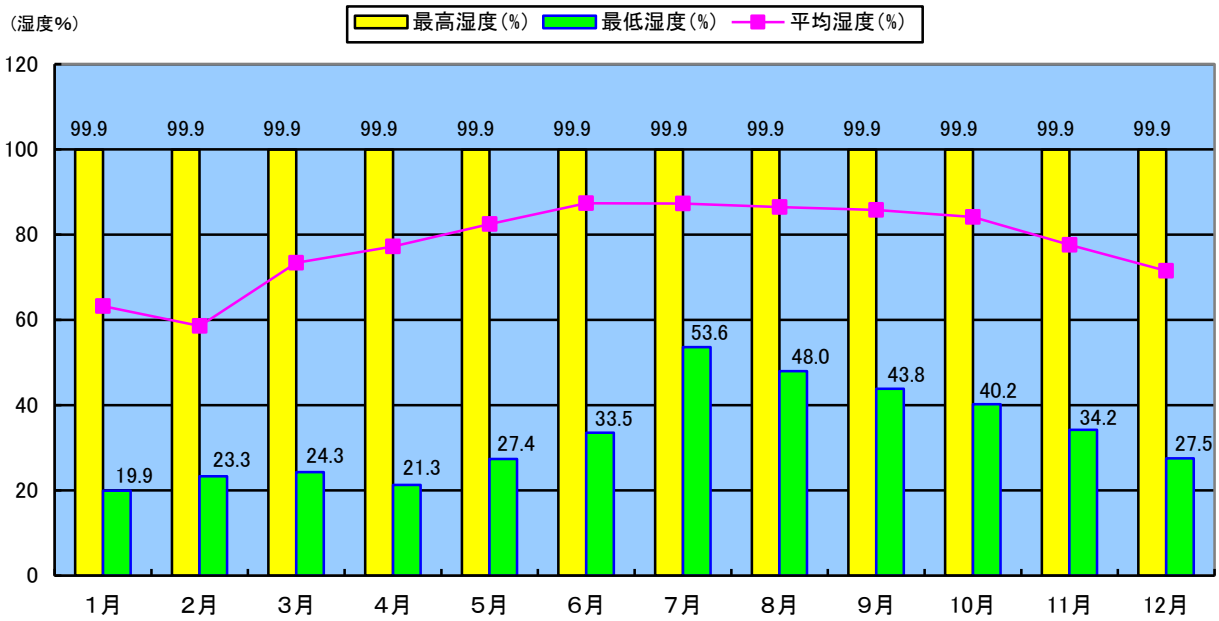
月別平均風速・降雨量状况



(令和7年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平均風速	3.5	4.2	2.5	2.0	1.8	1.3	1.0	1.2	1.3	1.5	1.9	2.7	
最多風向	西	西	西	西	西	静穏	静穏	西	静穏	北東	西	西	
降雨量	37.5	18.5	119.0	185.5	276.0	202.0	79.5	20.5	293.0	109.0	13.5	31.5	1385.5

月別湿度状況



(令和7年)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
最高湿度	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9	99.9
最低湿度	19.9	23.3	24.3	21.3	27.4	33.5	53.6	48.0	43.8	40.2	34.2	27.5	33.1
平均湿度	63.2	58.6	73.4	77.2	82.5	87.4	87.3	86.5	85.8	84.1	77.6	71.5	77.9
実効湿度	63.2	58.4	73.2	77.2	81.8	87.5	87.7	86.3	85.4	84.0	77.7	72.0	77.9

過去5年間の気象状況

	瞬間 最大風速 (m/s)	平均風速 (m/s)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	平均気温 (°C)	最高湿度 (%)	最低湿度 (%)	平均湿度 (%)	最高雨量 (mm)	総雨量 (mm)
令和7年	26.9	2.1	36.4	-3.5	17.5	99.9	19.9	77.9	293.0	1,385.5
令和6年	24.1	1.9	38.9	-3.3	18.1	99.9	15.4	79.5	772.5	2,934.0
令和5年	23.2	1.8	35.1	-3.4	17.6	99.9	16.0	78.7	426.5	2,164.0
令和4年	25.7	2.1	37.0	-4.7	17.0	99.9	18.2	77.3	479.0	2,376.5
令和3年	25.2	2.0	36.5	-2.6	17.0	99.9	18.6	76.0	422.0	2,191.0

消防団関係

	目	次	
菊川市消防団のあゆみ	-----		- 67 -
菊川市消防団の歴代消防団長・消防副団長	-----		- 70 -
菊川市消防団組織	-----		- 72 -
消防団方面隊別の自治会名・人口・世帯数一覧表	-----		- 73 -
消防団管轄区域	-----		- 74 -
消防団員の状況	-----		- 74 -
1 消防団員年齢状況	-----		- 74 -
2 消防団員在職年数別状況	-----		- 75 -
3 消防団員職業別状況	-----		- 75 -
消防団消防ポンプ自動車等配置状況	-----		- 76 -

菊 川 市 消 防 団 の あ ゆ み

年 月	変 遷
平成17年 1月	新市合併に伴い、菊川市消防団を設置 消防団員定数 364名(本部員13名・分団役員91名・団員260名) 消防団員 363名 8分団16部 車両16台 可搬ポンプ16台
4月	消防再編に伴い、消防団事務局が菊川市安全課より消防本部に移管
8月	第30回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場
平成18年 1月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第1部及び第4分団第2部更新
4月	消防団員 358名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第2部及び第4分団第1部更新
平成19年 4月	消防団員 363名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第8分団第2部更新 旧車両は日本消防協会を通じてモザンビーク共和国に寄贈
平成20年 3月	自治体消防制度60周年記念、優良消防団表彰
4月	消防団員 358名
12月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第2部及び第5分団更新
平成21年 4月	消防団員 352名
6月	指揮広報車(菊川62)更新
7月	第32回静岡県消防操法大会小型ポンプ操法の部出場 第3位入賞
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第3部及び第8分団第1部更新
平成22年 3月	消防庁官表彰功労章を宮城也寸志団長が受章
4月	消防団員 343名
7月	女性消防団発足(女性団員5名) 消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第1部更新
9月	小型動力可搬ポンプ更新(第1分団第1部、第2分団第2部、第4分団第2部)
平成23年 4月	消防団員 348名(うち女性団員6名)
9月	第33回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第1分団第3部更新
平成24年 4月	消防団員 341名(うち女性団員7名) 退職消防団員報償(第1号銀杯)を宮城也寸志前団長が受章
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第2分団第1部更新
平成25年 4月	消防団員 319名(うち女性団員8名) 日本消防協会表彰、功績章を森下雅也前団長が受章
11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第3部更新
平成26年 1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を森下雅也前団長が受章
4月	消防団員 319名(うち女性団員8名)
平成27年 1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を山口真史前副団長が受章
3月	第7分団蔵置所完成 運用開始
4月	消防団員 319名(うち女性団員10名)
9月	第35回静岡県消防操法大会小型ポンプ操法の部出場
平成28年 1月	救助資機材搭載型消防ポンプ自動車を消防庁より無償貸与
2月	第1分団第1部蔵置所完成 運用開始

	4月	消防団員 327名(うち女性団員9名) 日本消防協会表彰、精積章を二俣和弘副団長が受章
平成29年	11月	第3分団第2部蔵置所完成 運用開始
	1月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を内山博幸前団長が受章
	2月	第5分団蔵置所完成 運用開始 消防ポンプ自動車(CD-1型) 第3分団第2部更新
	4月	消防団再編成に伴い、分団を10分団に改編し市役所、分団機能別団員を採用 消防団員 322名(うち女性団員8名、機能別団員16名) 市役所へポンプ車を配置し、市役所職員による機能別団員の運用を開始 日本消防協会表彰、精積章を今野広幸団長が受章 日本消防協会表彰、功績章を二俣和弘副団長が受章
	9月	第36回静岡県消防操法大会ポンプ車操法の部出場 準優勝
	12月	加茂分団蔵置所完成 運用開始
平成30年	4月	消防団員 328名(うち女性団員8名、機能別団員18名)
平成31年	4月	消防団員 316名(うち女性団員7名、機能別団員22名) 日本消防協会表彰、功績章を今野広幸団長が受章 日本消防協会表彰、精積章を進士展好副団長、田島康順本部長が受章
令和元年	11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 小笠北分団2号車(嶺田蔵置所)更新
	12月	横地分団蔵置所完成 運用開始 退職消防団員報償(第2号銀杯)を二俣和弘前副団長が受章
令和2年	3月	救助資機材・小型動力ポンプ搭載型多機能車を総務省消防庁より無償貸与
	4月	消防団員 306名(うち女性団員7名、機能別団員24名)
	11月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 小笠南分団更新
令和3年	1月	日本消防協会から団本部指揮車を受贈
	2月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を今野広幸前団長・進士展好前副団長・田島康順前本部長が受章
	4月	消防団員 304名(うち女性団員12名、機能別団員32名) 日本消防協会表彰、精績章を曾根法明前副団長、松村奈津前本部長、赤堀直樹団員が受章
	12月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を曾根法明前副団長が受章
令和4年	4月	消防団員 283名(うち女性団員12名、機能別団員33名) 日本消防協会表彰、精績章を戸塚誠也副団長が受章
令和5年	2月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を小田修司前分団長が受章
	4月	消防団員 262名(うち女性団員11名、機能別団員34名) 日本消防協会表彰、精績章を縣佑次団長が受章
令和6年	2月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を柴田祐二前分団長が受章
	3月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 堀之内分団(堀之内蔵置所)更新
	4月	消防団員 273名(うち女性団員9名、機能別団員28名) 日本消防協会表彰、功績章を縣佑次団長が受章 精績章を齋藤康晴前本部長が受章
令和7年	2月	退職消防団員報償(第2号銀杯)を齋藤康晴前本部長が受章
	4月	消防ポンプ自動車(CD-1型) 河城分団(吉沢蔵置所)更新 消防団員252名(うち女性団員9名、機能別団員27名) 日本消防協会表彰、精績章を野中恵介本部長が受章

令和7年 12月	小笠北分団嶺田蔵置所完成 運用開始 消防団員245名（うち女性団員9名、機能別団員35名）
令和8年 4月	

菊川市消防団の歴代消防団長・消防副団長

【消防団長】

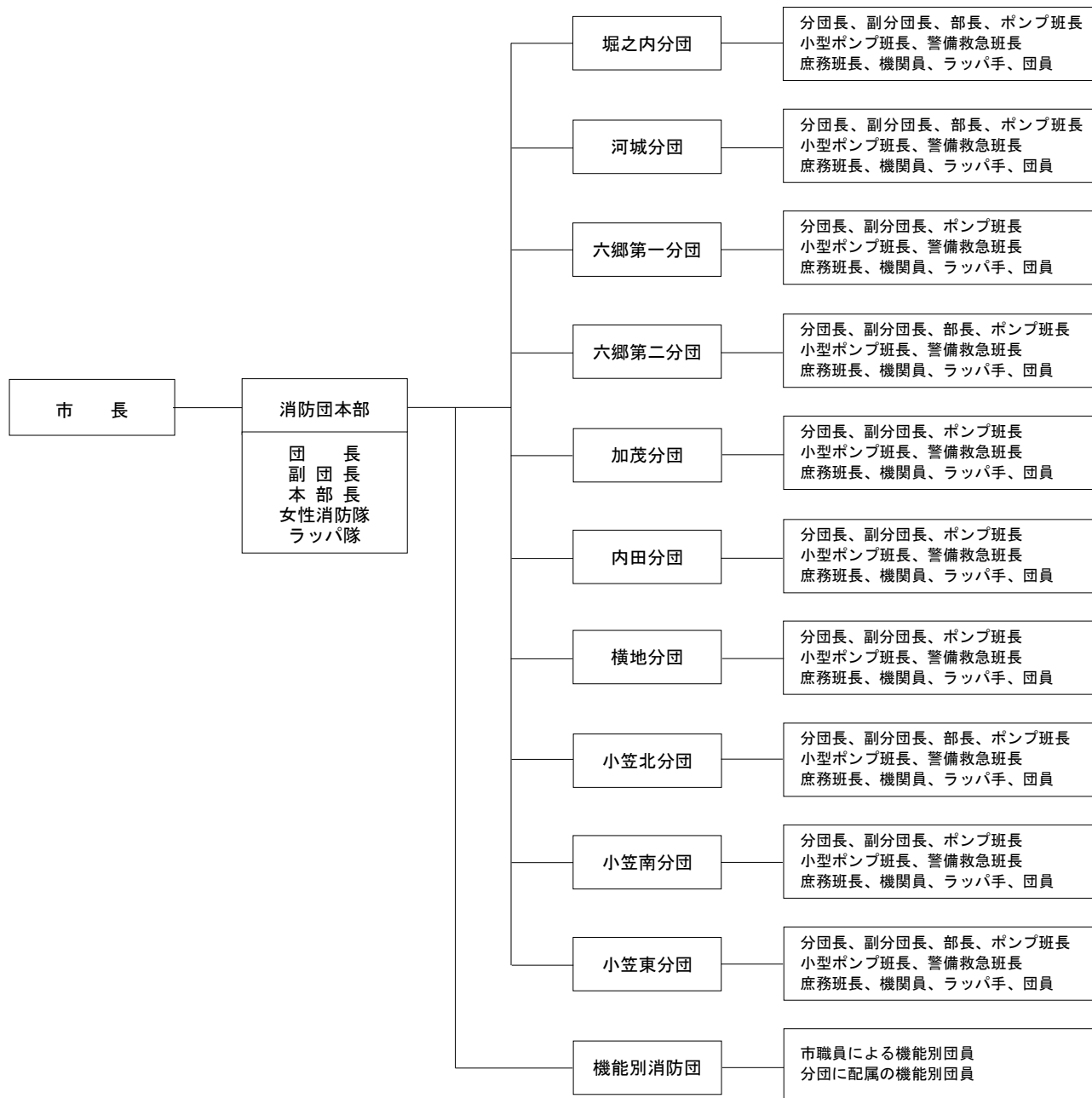
氏名	在職期間	在職年数
宮城也寸志	平成 17 年 1 月 ~ 平成 23 年 1 月	6 年
森下雅也	平成 23 年 1 月 ~ 平成 25 年 3 月	2 年 3 月
内山博幸	平成 25 年 4 月 ~ 平成 28 年 3 月	3 年
今野広幸	平成 28 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	4 年
縣 佑次	令和 2 年 4 月 ~ 令和 8 年 3 月	6 年
平川悠太	令和 8 年 4 月 ~ 現在に至る	—

【消防副団長】

氏名	在職期間	在職年数
長岡宏臣	平成 17 年 1 月 ~ 平成 18 年 3 月	1 年 3 月
松下知生	平成 17 年 1 月 ~ 平成 18 年 3 月	1 年 3 月
進士克義	平成 17 年 1 月 ~ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
山本弘章	平成 17 年 1 月 ~ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
黒田俊之	平成 17 年 1 月 ~ 平成 19 年 3 月	2 年 3 月
近藤善英	平成 18 年 4 月 ~ 平成 20 年 3 月	2 年
竹澤健一	平成 19 年 4 月 ~ 平成 21 年 3 月	2 年
山名裕隆	平成 19 年 4 月 ~ 平成 21 年 3 月	2 年
鈴木宏彦	平成 19 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月	3 年
森下雅也	平成 18 年 4 月 ~ 平成 23 年 1 月	4 年 10 月
竹内光晴	平成 21 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月	2 年
牧野哲也	平成 20 年 4 月 ~ 平成 24 年 3 月	4 年
内山博幸	平成 21 年 4 月 ~ 平成 25 年 3 月	4 年
山口真史	平成 22 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月	4 年
鈴木伸明	平成 23 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月	3 年
村松 覚	平成 23 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月	3 年
山内一郎	平成 24 年 4 月 ~ 平成 27 年 3 月	3 年
今野広幸	平成 25 年 4 月 ~ 平成 28 年 3 月	3 年
二俣和弘	平成 26 年 4 月 ~ 平成 31 年 3 月	5 年
縣 佑次	平成 27 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	5 年
進士展好	平成 27 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	5 年
宮城尚史	平成 31 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	1 年
曾根法明	平成 30 年 4 月 ~ 令和 3 年 3 月	3 年
伊藤勝敏	平成 26 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	8 年
戸塚雅彦	令和 3 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	1 年
野中恵介	令和 2 年 4 月 ~ 令和 6 年 3 月	4 年
山下竜弥	令和 4 年 4 月 ~ 令和 7 年 3 月	3 年
平川悠太	令和 4 年 4 月 ~ 令和 8 年 3 月	4 年
黒田聖之	令和 2 年 4 月 ~ 現在に至る	—
戸塚誠也	令和 2 年 4 月 ~ 現在に至る	—

西海健司	令和 6 年 4 月 ~ 現在に至る	—
相羽健吾	令和 7 年 4 月 ~ 現在に至る	—
竹内康裕	令和 8 年 4 月 ~ 現在に至る	—

菊 川 市 消 防 団 組 織



<災害時の活動組織>



消防団方面隊別の自治会名・人口・世帯数一覧表

(令和8年4月1日 現在)

消防団	自治会名	人口 (人)	世帯数	
第一方面隊	堀之内分団	公文名、沢田、島川、田ヶ谷、堀田、堀之内、日吉町、宮前、西通り、本通り上、本通り下、新通、初咲町、日之出町一丁目、緑ヶ丘、柳町	6,353	2,718
	河城分団	富士見台、吉沢、上倉沢、下倉沢、友田、東富田、西富田、沢水加、和田、潮海寺上、潮海寺中、潮海寺下、六本松	4,329	1,619
	小 計		10,682	4,337
第二方面隊	六郷第一分団	五丁目上、五丁目下、打上、日之出町二丁目、上本所、雇用促進第二、青葉台一丁目、青葉台二丁目、青葉台三丁目、仲島、県営住宅、上本所団地、雇用促進第一、宮下	5,729	2,696
	六郷第二分団	島、下本所、下半済、小出、つつじヶ丘、神尾、牛淵、牧之原上、牧之原下、虹の丘	3,988	1,649
	加茂分団	白岩下、白岩段、西袋、三軒家、小川端、長池、白岩東	7,055	2,972
	内田分団	森、御門、杉森、政所、月岡、東平尾、西平尾、稲荷部、高田、段平尾、平尾	2,928	1,093
	横地分団	奥横地、段横地、川島、西横地、土橋、奈良野、三沢、星ヶ丘、横地雇用促進	2,226	863
	小 計		21,926	9,273
第三方面隊	小笠北分団	上平川、池村、堤、志瑞、石原、八幡谷、東組、奥の谷、新道、下新道、本町、岳洋、五反通、志茂組、東嶺田、中嶺田、西嶺田、大石、西ヶ崎、堂山、平ノ都	7,154	3,053
	小笠南分団	河東西、河東中、東河東、南町、山西、高橋口、高橋中、大門、南ニュータウン、サンライズ、原磯部 (一部)	2,618	1,006
	小笠東分団	布引原、丹野、古谷、川東、川中、川西、三協、棚草、赤土上、赤土下、赤土団地、城山下、花水木、原磯部 (一部)	4,176	1,705
	小 計		13,948	5,764
合 計		46,556	19,374	

消防団管轄区域

(令和8年4月1日 現在)

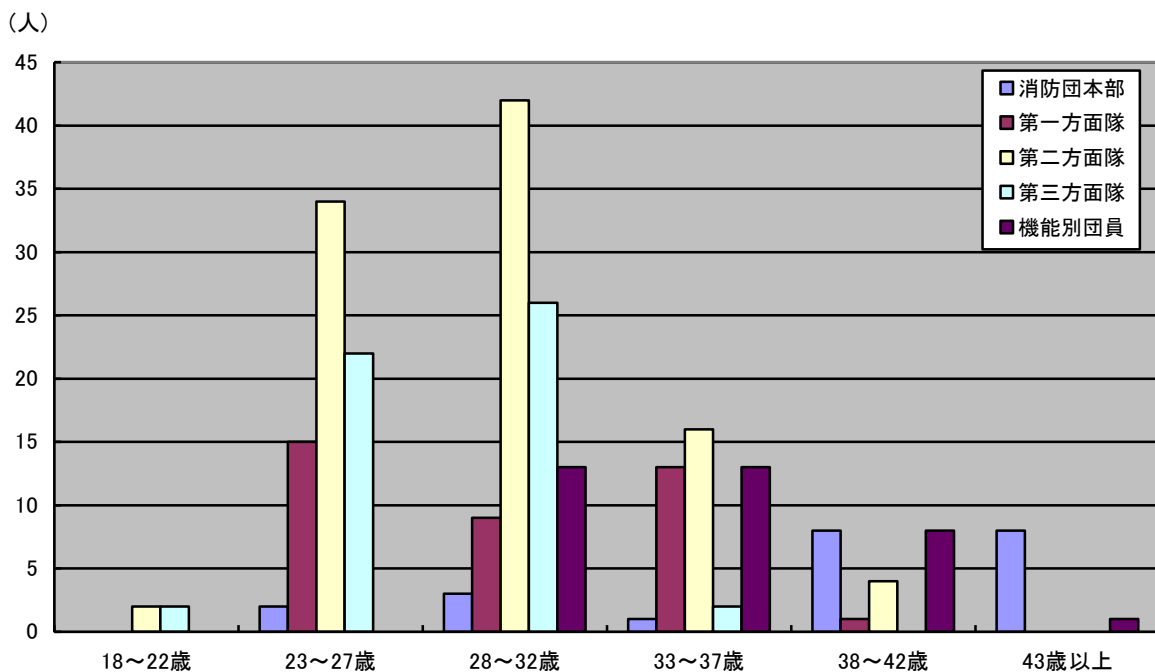
区分	方面隊・管轄分団等	消防団本部	第一方面隊		第二方面隊			第三方面隊			機能別消防団	合計
			堀之内分団	河城分団	六郷第一分団	六郷第二分団	加茂分団	内田分団	横地分団	小笠北分団		
定員		23	80		140			95			26	364
実員		22	38		98			52			35	245
増減		△1	△42		△42			△43			9	△119
車両等	指揮・広報車	2										2
	消防ポンプ車		4		7			5			1	17
	可搬ポンプ	1	4		7			4				16

消防団員の状況

1 消防団員年齢状況

(令和8年4月1日 現在)

	18～22歳	23～27歳	28～32歳	33～37歳	38～42歳	43歳以上	平均年齢
消防団本部		2	3	1	8	8	39.7歳
第一方面隊		15	9	13	1		28.3歳
第二方面隊	2	34	42	16	4		29.3歳
第三方面隊	2	22	26	2			27.4歳
機能別団員			13	13	8	1	35.0歳
合計	4	73	93	45	21	9	30.4歳



2 消防団員在職年数別状況

(令和8年4月1日 現在)

	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計
消防団本部	7	13	1	1		22
第一方面隊	18	8	10	1	1	38
第二方面隊	43	37	14	4		98
第三方面隊	34	18				52
機能別団員	19	14	2			35
合計	121	90	27	6	1	245

3 消防団員職業別状況

(令和8年4月1日 現在)

職業別	分団別 消防団本部	第一方面隊		第二方面隊					第三方面隊			機能別団員	合計
		堀之内分団	河城分団	六郷第一分団	六郷第二分団	加茂分団	内田分団	横地分団	小笠北分団	小笠南分団	小笠東分団		
農業	2				2			1	1		1		7
林業													
漁業													
鉱業													
建築業	1				1			3		2	1	3	11
製造業	6	5	7	1	15	9	6	12	14	9	6	15	105
電気・ガス・熱供給・水道業					3		1					1	5
運輸・通信業					2	1				1			4
卸売・小売業・飲食店	1			3	1		1		1			2	9
金融・保険業	1			1				2					4
不動産業													
サービス業	3	2	2	2	1	1	1	1			1	3	17
国家公務員										1			1
地方公務員	3	16	5	8	2		2	6	7	2	5	10	66
特殊法人等公務員に準ずる職員	4	1			2							1	8
分類不能の産業													
その他	1				4	1	1	1					8
合計	22	24	14	15	33	12	12	26	23	15	14	35	245

消防団消防ポンプ自動車等配置状況

(令和8年4月1日 現在)

消防団		区分	登録番号	配置場所	車名等	年式	型式等	級別	エンジン 排気量(cc)
消防団本部			浜松 す 800 8632	消防団本部	日産	R2	救助資機材・小型動力 ポンプ搭載型多機能車 (団本部広報車)	5人乗り	2,480
					シバウラ	R2	可搬ポンプ	B-2	658
					三菱	R2	団本部指揮車	8人乗り	2,260
機能別消防団(市職員)			浜松 す 800 6233	菊川市役所	いすゞ	H27	救助資機材搭載型 CD-1	A-2	2,990
第一方面隊	堀之内分団	堀之内	浜松 せ 800 1021	日野	R5	CD-1型	A-2	4,000	
			トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	209		
		西方	浜松 さ 830 512	いすゞ	H18	CD-1型	A-2	4,770	
			シバウラ	H18	可搬ポンプ	B-2	618		
	河城分団	潮海寺	浜松 さ 830 541	いすゞ	H18	CD-1型	A-2	4,770	
			シバウラ	H18	可搬ポンプ	B-2	618		
		吉沢	浜松 せ 800 1545	日野	R6	CD-1型	A-2	4,000	
				トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	209	
第二方面隊	六郷第一分団	本所	浜松 さ 830 513	いすゞ	H23	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209	
	六郷第二分団	本所 (下本所)	浜松 せ 830 521	いすゞ	H24	CD-1型	A-2	2,990	
				シバウラ	H19	可搬ポンプ	B-2	618	
		牛淵	浜松 さ 830 522	いすゞ	H20	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	H22	可搬ポンプ	C-1	182	
		牛淵 (牧之原)	浜松 さ 830 523	いすゞ	H21	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209	
	加茂分団	加茂	浜松 さ 830 531	いすゞ	H22	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	H20	可搬ポンプ	B-2	436	
	内田分団	中内田	浜松 す 800 6816	いすゞ	H29	CD-1型	A-2	2,990	
				シバウラ	H19	可搬ポンプ	C-1	182	
	横地分団	東横地	浜松 さ 830 533	いすゞ	H25	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	H21	可搬ポンプ	C-1	209	
	第三方面隊	小笠北分団	下平川	浜松 さ 830 550	いすゞ	H20	CD-1型	A-2	2,990
					シバウラ	H15	可搬ポンプ	B-2	618
嶺田			浜松 す 800 8355	日野	R1	CD-1型	A-2	4,000	
				トーハツ	R1	可搬ポンプ	B-2	526	
小笠南分団		高橋	浜松 す 800 8929	いすゞ	R2	CD-1型	A-2	2,990	
				シバウラ	R2	可搬ポンプ	B-2	436	
小笠東分団		川上	浜松 さ 830 581	いすゞ	H21	CD-1型	A-2	2,990	
				トーハツ	R5	可搬ポンプ	B-2	500	
		布引原	浜松 さ 830 582	いすゞ	H19	CD-1型	A-2	2,990	

令和7年版
消 防 年 報
令和8年6月発行

編集・発行

菊川市消防本部
静岡県菊川市東横地385番地
TEL (0537) 35-0119
FAX (0537) 36-4996
E-mail syoubou@city.kikugawa.shizuoka.jp